

資料 2

文献調査結果の概要について

目 次

A. 世帯構成と家計

図表 1	世帯構造別にみた 65 歳以上の者のいる世帯数及び構成割合の年次推移 ①	5
図表 2	65 歳以上の者の数－構成割合, 家族形態・年次別 ①	6
図表 3	性・年齢階級別にみた家族形態別 65 歳以上の者の数及び構成割合 ①	7
図表 4	65 歳以上の者のいる世帯の 1 世帯当たり平均所得金額－1 世帯当たり平均可処分所得金額－世帯人員 1 人当たり平均所得金額－世帯人員 1 人当たり平均可処分所得金額－有業人員 1 人当たり平均稼働所得金額－平均世帯人員－平均有業人員, 世帯構造別 ①	8
図表 5	高齢者のいる世帯の推移 ⑫	9
図表 6	高齢者の就業状況 ⑪	10
図表 7	ボランティア活動への参加理由(複数回答) ⑧	11
図表 8	情報の入手手段(複数回答) ⑧	11
図表 9	引退時期と活動開始時期との関係 ⑧	12
図表 10	居住年数 ⑨	13
図表 11	外出の頻度 ⑨	13
図表 12	近所づきあいの程度 ⑨	14
図表 13	親しい友人・仲間の有無 ⑨	14
図表 14	親しい友人・仲間との関係(複数回答) ⑨	14
図表 15	何らかの情報機器を使って、家族・友人と連絡を取ったり、情報を探したりするか(複数回答) ⑨	15
図表 16	参加している活動(複数回答) ⑨	15
図表 17	最も力を入れた活動(この 1 年間に何らかの活動に参加したことがある人がベース) ⑨	16
図表 18	地域活動への参加意向 ⑨	16
図表 19	参加した若い世代との交流の内容(複数回答) ⑨	17
図表 20	セカンドライフでの社会貢献活動の意義 ⑭	18
図表 21	持っているデジタル機器 ⑦	19
図表 22	パソコン所有者に聞いたその使い途 ⑦	19
図表 23	携帯電話(カメラ付きを含む)所有者に聞いたその使い途 ⑦	19
図表 24	情報通信機器の利用状況と利用希望 ⑩	20
図表 25	仕事と個人生活をバランスよく両立させるために時間をとりたい活動 ②	21
図表 26	不自由を感じるのはどんなときか ③	22
図表 27	日常の外出状況 ③	23
図表 28	普段の楽しみ ③	24
図表 29	今後取り組んでみたい活動 ③	25
図表 30	日常生活情報の情報源 ③	26
図表 31	日常生活情報について不満な点 ③	27
図表 32	欲しい日常生活情報 ③	28
図表 33	日々の暮らしに関し社会として重点を置くべきもの ③	29
図表 34	現在の生活の各面での満足度(住生活、性・年齢別) ④	30
図表 35	時間のゆとりの有無(性・年齢別) ④	31
図表 36	今後切りつめていくもの ⑤	32
図表 37	団塊世代の現在の生きがいと将来の生きがいの比較 ⑥	33
図表 38	勉強・習い事の内容 ⑥	34
図表 39	地域活動への将来の参加希望 ⑥	35
図表 40	普段どのようなことをしているか ⑦	36
図表 41	どのような趣味を持っているか ⑦	36
図表 42	国内旅行に行く頻度 ⑦	36
図表 43	国内旅行に行く目的 ⑦	36
図表 44	海外旅行に行く頻度 ⑦	37
図表 45	海外旅行に行く目的 ⑦	37
図表 46	具体的にしている勉強 ⑦	37
図表 47	今、お金をかけても良いと思うこと ⑦	38
図表 48	実践している健康法があるか ⑦	38

図表 49	今後やってみたいこと ⑦	3 9
図表 50	趣味（スポーツ関連） ⑩	4 0
図表 51	趣味（スポーツ以外）（複数回答） ⑩	4 1
図表 52	団塊の世代に対して今後重要度が高まると予想される販売ルート（複数回答） ⑩	4 1
図表 53	高齢者の1日の生活時間 ⑫	4 2
図表 54	定年後に楽しみたいこと ⑬	4 3

<出典>

①	「平成17年 国民生活基礎調査」	4 4
②	「社会意識に関する世論調査（平成17年2月）」	4 5
③	「平成16年度高齢者の日常生活に関する意識調査結果」	4 6
④	「国民生活に関する世論調査（平成17年6月調査）」	4 7
⑤	「都民生活に関する世論調査（平成16年8月）」	4 8
⑥	「武蔵野市『団塊世代』市民アンケート調査報告書」	4 9
⑦	「2004年度シニア世代実態調査」	5 0
⑧	「平成16年度高齢社会白書－平成16年度高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況－」	5 1
⑨	「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査結果」	5 2
⑩	「高齢社会を豊かにする新産業への取組みとシニアのライフスタイルに関する調査報告書」	5 3
⑪	「平成16年高齢者就業実態調査結果」	5 4
⑫	「統計からみた我が国の高齢者（平成17年）」	5 5
⑬	「『団塊夫婦の定年意識』に関する調査」	5 6
⑭	「『セカンドライフの社会貢献活動に関する一般生活者の意識』調査結果」	5 7

A 世帯構成と家計

図表 1 世帯構造別にみた 65 歳以上の者のいる世帯数及び構成割合の年次推移 ①

年次	65 歳以上の者のいる世帯	全世帯に占める割合 (%)	単独世帯	夫婦のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	三世代世帯	その他の世帯	(再掲) 65 歳以上の者のみの世帯
推計数(単位:千世帯)								
昭和 61 年	9 769	(26.0)	1 281	1 782	1 086	4 375	1 245	2 339
平成元年	10 774	(27.3)	1 592	2 257	1 260	4 385	1 280	3 035
4	11 884	(28.8)	1 865	2 706	1 439	4 348	1 527	3 666
7	12 695	(31.1)	2 199	3 075	1 636	4 232	1 553	4 370
10	14 822	(33.3)	2 724	3 956	2 025	4 401	1 715	5 597
13	16 367	(35.8)	3 179	4 545	2 563	4 179	1 902	6 636
14	16 848	(36.6)	3 405	4 822	2 633	4 001	1 987	7 161
15	17 273	(37.7)	3 411	4 845	2 727	4 169	2 120	7 230
16	17 864	(38.6)	3 730	5 252	2 931	3 919	2 031	7 855
17	18 532	(39.4)	4 069	5 420	3 010	3 947	2 088	8 337
構成割合(単位:%)								
昭和 61 年	100.0	・	13.1	18.2	11.1	44.8	12.7	23.9
平成元年	100.0	・	14.8	20.9	11.7	40.7	11.9	28.2
4	100.0	・	15.7	22.8	12.1	36.6	12.8	30.8
7	100.0	・	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2	34.4
10	100.0	・	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6	37.8
13	100.0	・	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6	40.5
14	100.0	・	20.2	28.6	15.6	23.7	11.8	42.5
15	100.0	・	19.7	28.1	15.8	24.1	12.3	41.9
16	100.0	・	20.9	29.4	16.4	21.9	11.4	44.0
17	100.0	・	22.0	29.2	16.2	21.3	11.3	45.0

注:平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

図表 2 65 歳以上の者の数—構成割合, 家族形態・年次別 ①

年次	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	子と同居			その他の親族と同居	非親族と同居
				総数	子供夫婦と同居	配偶者のいない子と同居		
推計数(単位:千人)								
昭和55年	10,729	910	2,100	7,398	5,628	1,770	300	21
61	12,626	1,281	2,784	8,116	5,897	2,219	409	37
平成 元年	14,239	1,592	3,634	8,539	6,016	2,524	445	29
4	15,986	1,865	4,410	9,122	6,188	2,934	549	41
7	17,449	2,199	5,125	9,483	6,192	3,291	611	31
10	20,620	2,724	6,669	10,374	6,443	3,931	816	36
13	23,073	3,179	7,802	11,173	6,332	4,841	878	41
14	23,913	3,405	8,385	11,251	6,249	5,002	830	42
15	24,640	3,411	8,439	11,790	6,531	5,258	952	48
16	25,424	3,730	9,151	11,571	5,995	5,576	916	55
17	26,316	4,069	9,490	11,830	6,142	5,688	890	37
構成割合(単位:%)								
昭和55年	100.0	8.5	19.6	69.0	52.5	16.5	2.8	0.2
61	100.0	10.1	22.0	64.3	46.7	17.6	3.2	0.3
平成 元年	100.0	11.2	25.5	60.0	42.2	17.7	3.1	0.2
4	100.0	11.7	27.6	57.1	38.7	18.4	3.4	0.3
7	100.0	12.6	29.4	54.3	35.5	18.9	3.5	0.2
10	100.0	13.2	32.3	50.3	31.2	19.1	4.0	0.2
13	100.0	13.8	33.8	48.4	27.4	21.0	3.8	0.2
14	100.0	14.2	35.1	47.1	26.1	20.9	3.5	0.2
15	100.0	13.8	34.3	47.8	26.5	21.3	3.9	0.2
16	100.0	14.7	36.0	45.5	23.6	21.9	3.6	0.2
17	100.0	15.5	36.1	45.0	23.3	21.6	3.4	0.1

注:平成7年の数値は、兵庫県を除いたものである。

図表 3 性・年齢階級別にみた家族形態別 65 歳以上の者の数及び構成割合 ①

(単位:%)

性 年齢階級	総数 (千人)	単独世帯	夫婦のみ の世帯	子と同居			その他の 親族と同居	非親族と 同居
					子供夫婦と 同居	配偶者のいな い子と同居		
総数	26,316	15.5	36.1	45.0	23.3	21.6	3.4	0.1
65～69歳	8,088	11.9	43.6	39.6	12.0	27.7	4.7	0.1
70～74歳	6,916	14.7	42.1	40.5	18.9	21.6	2.5	0.2
75～79歳	5,436	17.9	35.2	44.1	26.9	17.2	2.8	0.1
80歳以上	5,875	19.0	19.4	58.3	40.9	17.4	3.1	0.1
男性	11,370	8.9	46.6	40.9	18.3	22.6	3.5	0.1
65～69歳	3,836	8.9	46.4	38.9	9.8	29.1	5.7	0.1
70～74歳	3,169	8.3	50.9	38.3	15.1	23.2	2.3	0.2
75～79歳	2,375	8.9	47.6	41.4	23.7	17.6	2.0	0.1
80歳以上	1,991	9.9	38.9	48.3	33.3	15.0	2.8	0.1
女性	14,945	20.5	28.1	48.0	27.2	20.9	3.3	0.1
65～69歳	4,253	14.6	41.2	40.3	13.9	26.4	3.8	0.1
70～74歳	3,747	20.2	34.6	42.3	22.1	20.2	2.7	0.2
75～79歳	3,061	24.8	25.5	46.2	29.4	16.8	3.4	0.1
80歳以上	3,885	23.7	9.4	63.4	44.8	18.6	3.2	0.2

※平成17年国民生活基礎調査

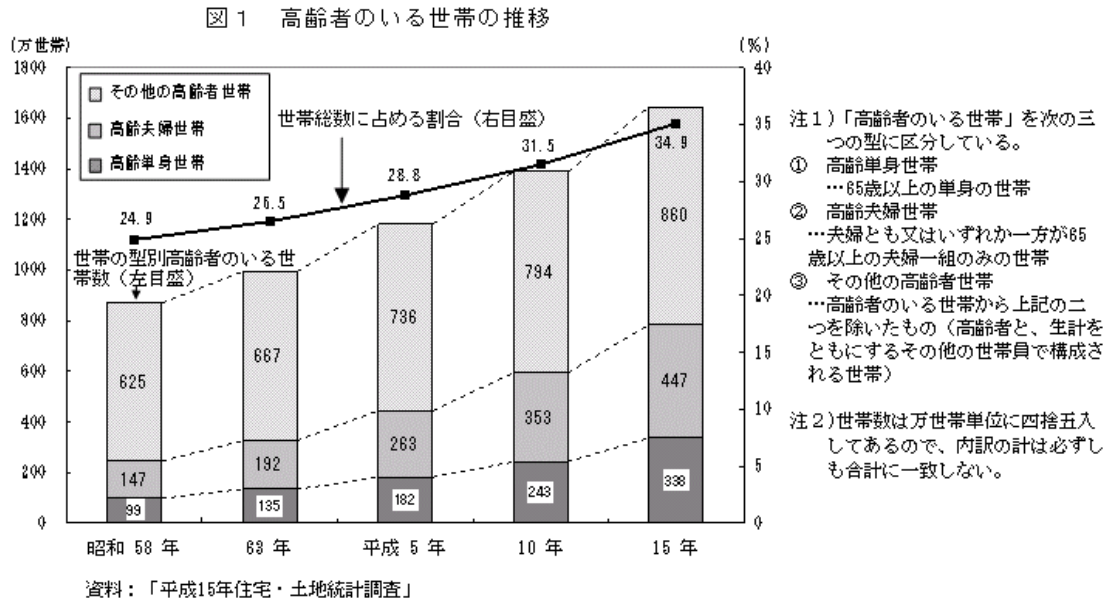
第 88 表__ 65 歳以上の者の数, 性・配偶者の有無・年齢(5 歳階級)・家族形態別に基づき作成

図表 4 65歳以上の者のいる世帯の1世帯当たり平均所得金額－1世帯当たり平均可処分所得金額－世帯人員1人当たり平均所得金額－世帯人員1人当たり平均可処分所得金額－有業人員1人当たり平均稼働所得金額－平均世帯人員－平均有業人員，世帯構造別 ①

世帯構造	1世帯当たり		世帯人員1人当たり		有業人員1人 当たり平均 稼働所得金額 (万円)	平均 世帯 人員 (人)	平均 有業 人員 (人)
	平均所得 金額 (万円)	平均可処分 所得金額 (万円)	平均所得 金額 (万円)	平均可処分 所得金額 (万円)			
総数	580.4	471.7	203.3	169.5	317.7	2.85	1.44
65歳以上の総数	537.1	443.0	188.4	159.4	261.7	2.85	1.22
単独世帯	183.6	164.2	183.6	164.2	178.3	1.00	0.15
男の単独世帯	240.9	208.3	240.9	208.3	165.5	1.00	0.29
女の単独世帯	166.2	151.3	166.2	151.3	188.3	1.00	0.11
核家族世帯	460.9	387.9	203.1	172.7	224.0	2.27	0.83
夫婦のみの世帯	408.6	352.7	204.3	176.3	208.2	2.00	0.54
夫婦と未婚の子 のみの世帯	656.7	538.6	206.5	169.7	227.8	3.18	1.60
ひとり親と未婚の 子のみの世帯	403.0	345.4	189.9	162.3	255.1	2.12	1.00
三世帯世帯	897.9	749.7	171.7	144.0	279.7	5.23	2.58
その他の世帯	681.1	558.4	208.7	171.6	286.2	3.26	1.70

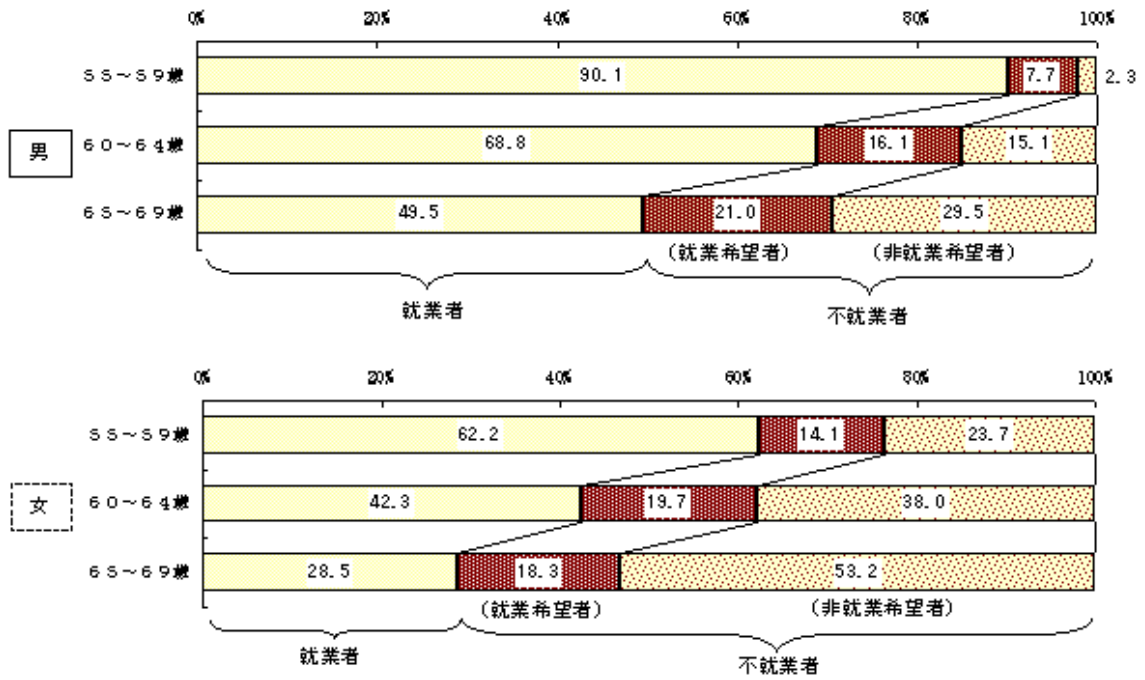
注:「平均可処分所得金額」には、金額不詳の世帯は含まない。

図表 5 高齢者のいる世帯の推移 ⑫



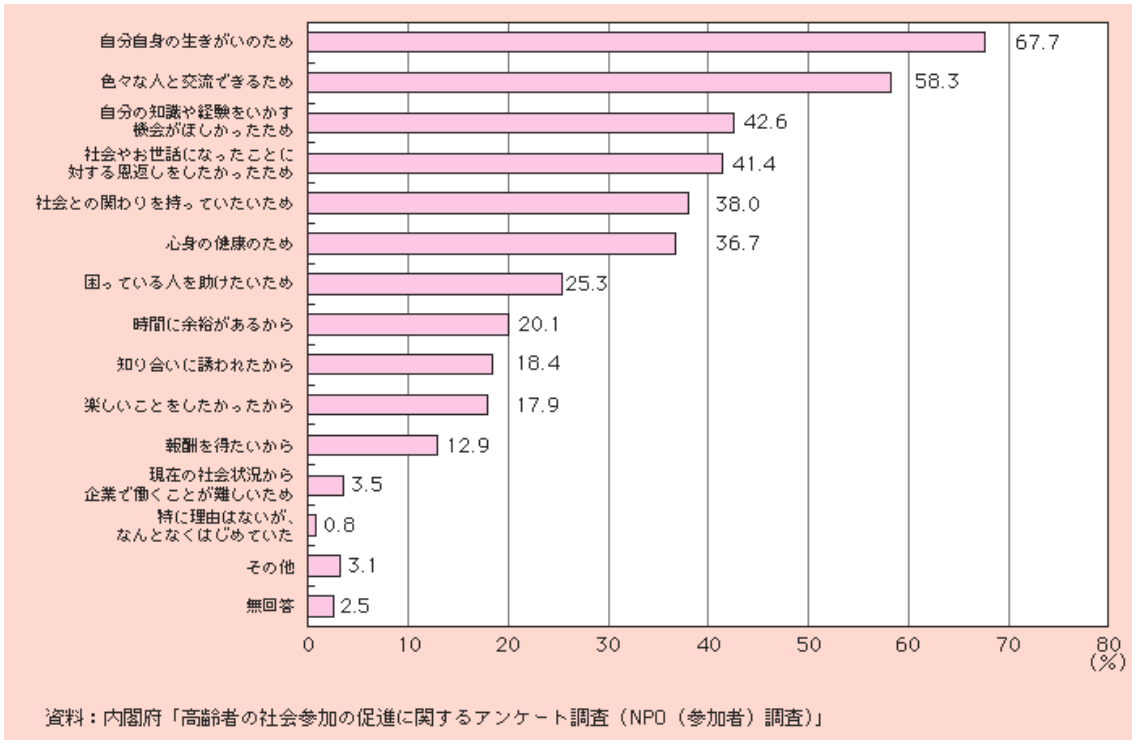
B-1 就労状況

図表 6 高齢者の就業状況 ①

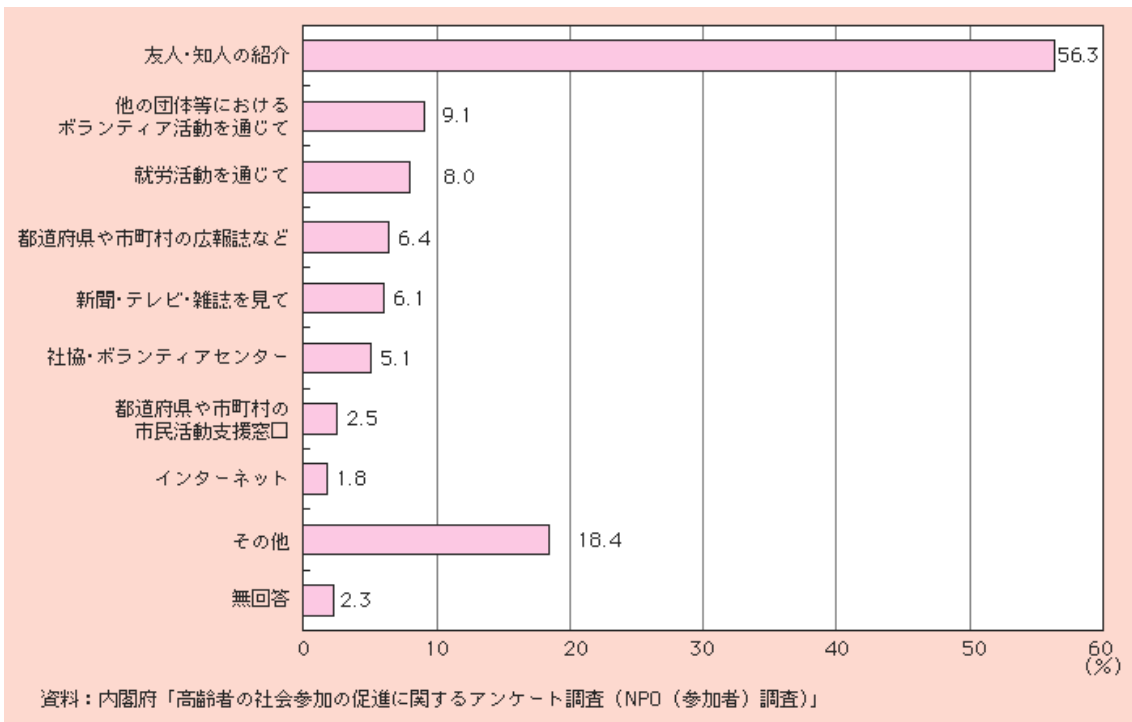


B-2 社会活動の状況

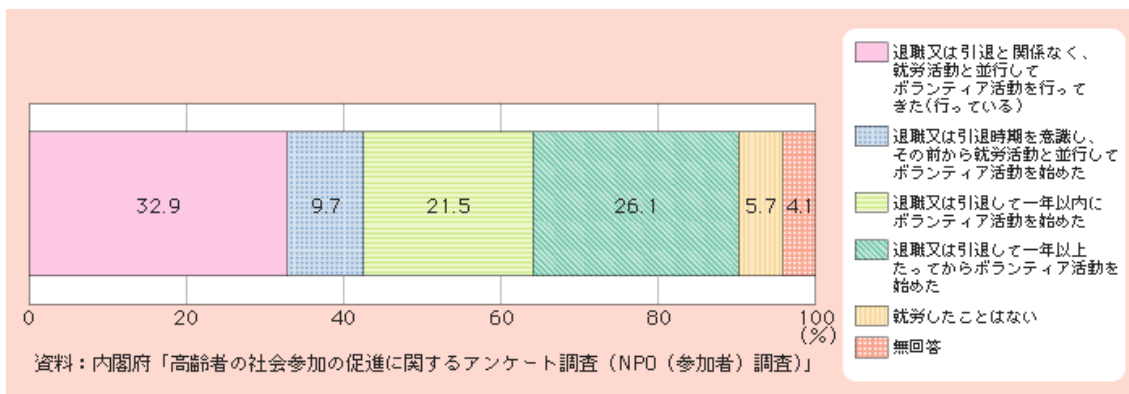
図表 7 ボランティア活動への参加理由(複数回答) ⑧



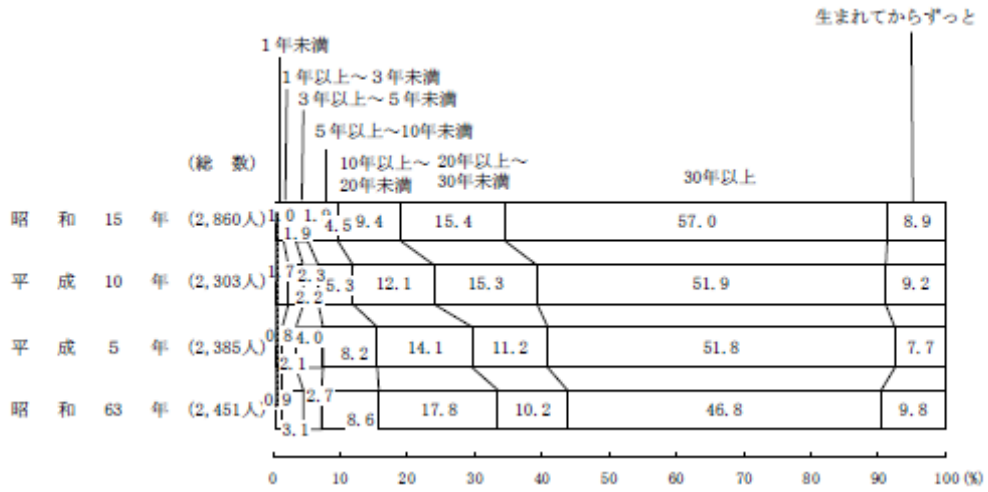
図表 8 情報の入手手段(複数回答) ⑧



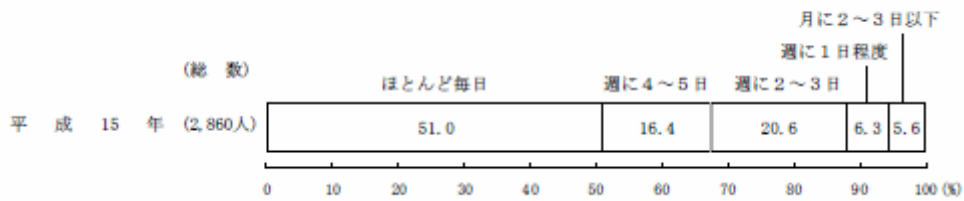
図表 9 引退時期と活動開始時期との関係 ⑧



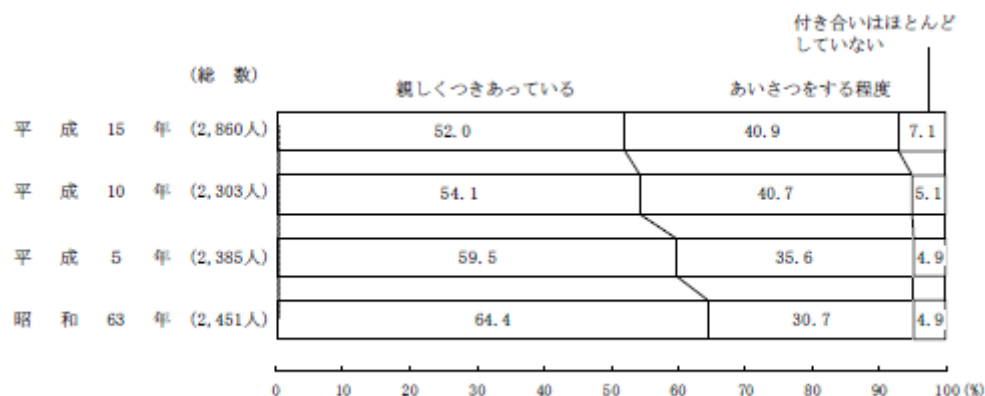
図表 10 居住年数 ⑨



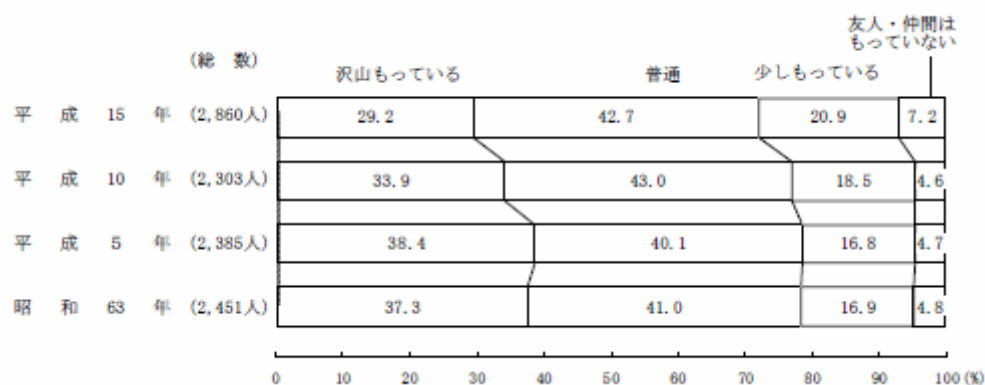
図表 11 外出の頻度 ⑨



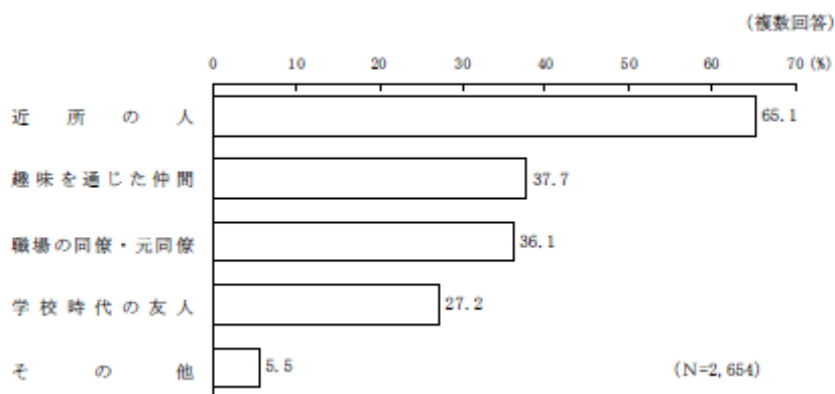
図表 12 近所づきあいの程度 ⑨



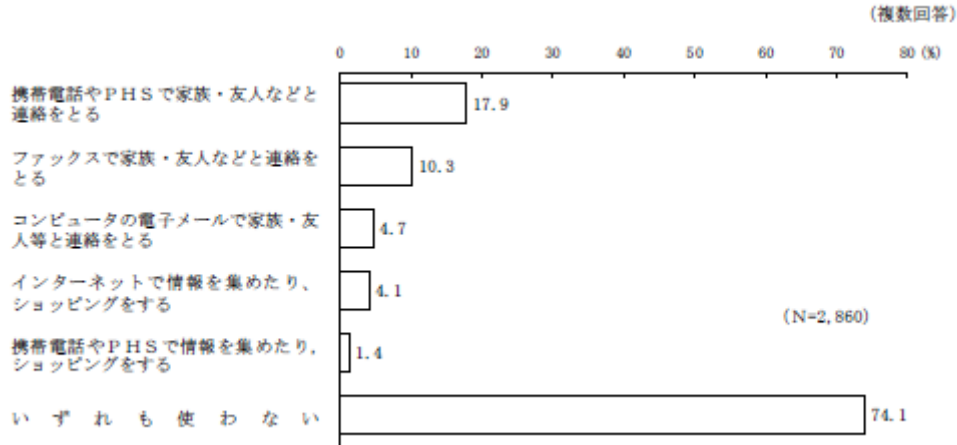
図表 13 親しい友人・仲間の有無 ⑨



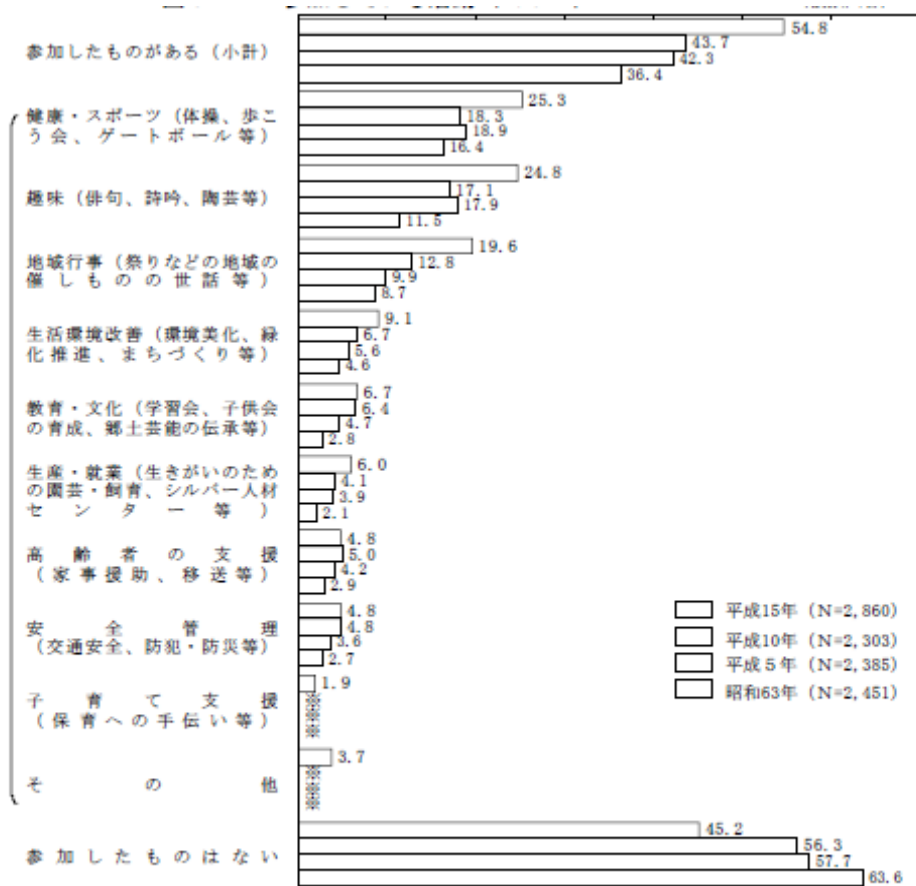
図表 14 親しい友人・仲間との関係(複数回答) ⑨



図表 15 何らかの情報機器を使って、家族・友人と連絡を取ったり、情報を探したりするか（複数回答） ⑨



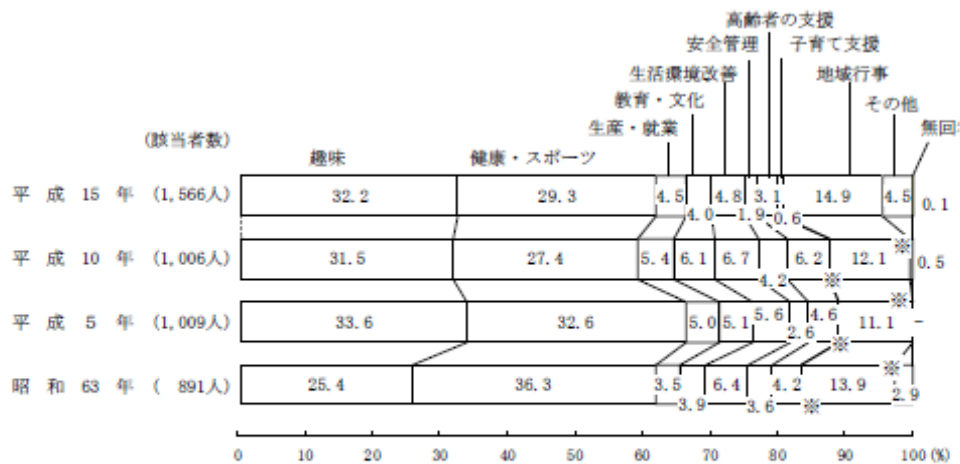
図表 16 参加している活動（複数回答） ⑨



注1) 昭和63年は、グループや団体で自主的に行われている活動が対象。
 注2) 「高齢者の支援」は、平成10年までは「福祉・保健」とされている。
 注3) ※は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

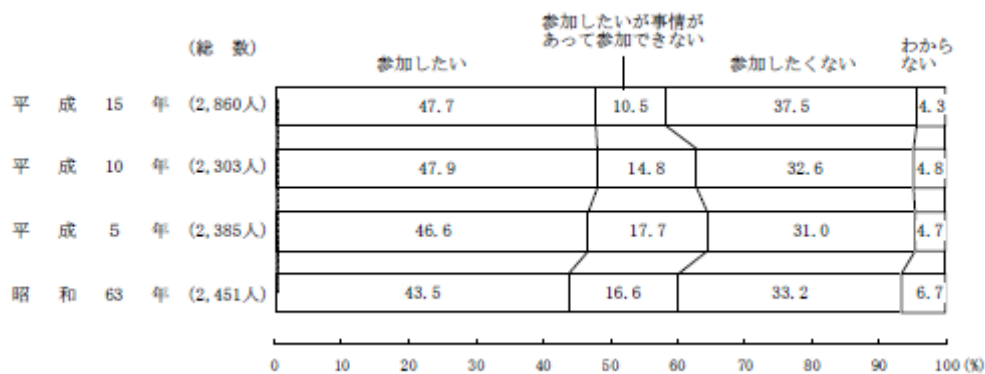
図表 17 最も力を入れた活動(この1年間に何らかの活動に参加したことがある人がベース)

⑨

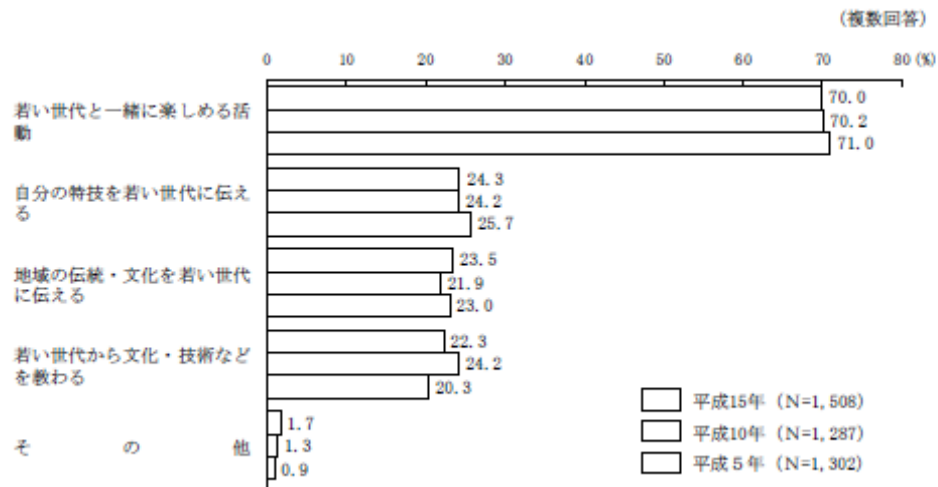


注1) 昭和63年は、グループや団体で自主的に行われている活動が対象。
 注2) 「高齢者の支援」は、平成10年までは「福祉・保健」とされている。
 注3) 「無回答」は、平成10年までは「不明」となっている。
 注4) ※は調査時に選択肢がないなどで、データが存在しないもの。

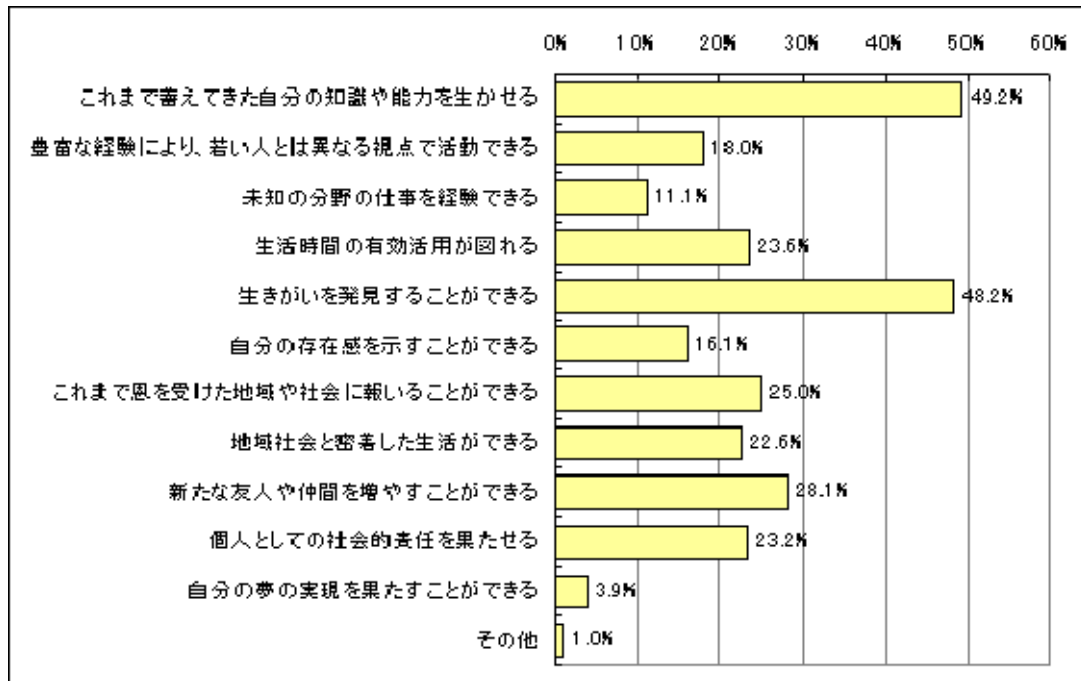
図表 18 地域活動への参加意向 ⑨



図表 19 参加した若い世代との交流の内容（複数回答） ⑨



図表 20 セカンドライフでの社会貢献活動の意義 ⑭



C ICT 機器の利用状況

図表 21 持っているデジタル機器 ⑦

＜持っているデジタル機器＞(回答者数318人 複数回答)

順位	項目	人数	割合()内は03年
1位	パソコン	202人	63.5% (60.5%)
2位	携帯電話	157人	49.4% (55.4%)
3位	デジタルカメラ	127人	39.9% (33.8%)
4位	カメラ付き携帯電話	74人	23.3% (12.6%)
4位	DVDプレーヤー	74人	23.3% (16.8%)
6位	ハードディスク内蔵DVDプレーヤー	26人	8.2% (-)
6位	地上波デジタル対応テレビ	26人	8.2% (-)

図表 22 パソコン所有者に聞いたその使い途 ⑦

＜パソコン所有者に聞いたその使い途＞
(回答者数202人 複数回答)

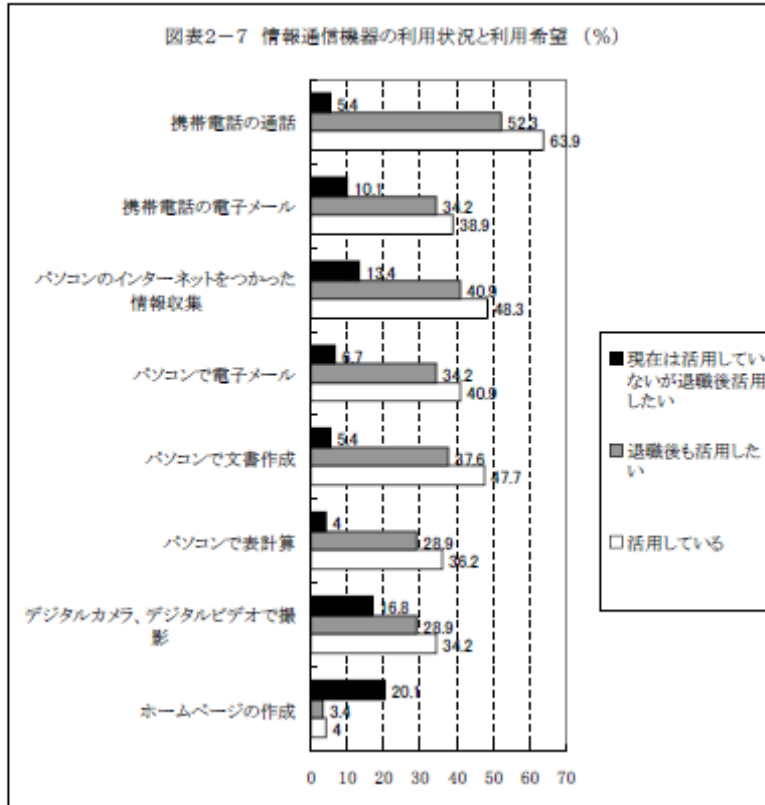
順位	項目	人数	割合
1位	インターネット(検索、買い物等)	138人	68.3%
1位	文書作成(年賀状、案内状等)	138人	68.3%
3位	パソコンメール	117人	57.9%
4位	データ管理(家計簿、趣味等)	64人	31.7%
5位	音楽、映像を楽しむ(CD、DVD等)	31人	15.3%

図表 23 携帯電話(カメラ付きを含む)所有者に聞いたその使い途 ⑦

＜携帯電話(カメラ付きを含む)所有者に聞いたその使い途＞
(回答者数194人 複数回答)

順位	項目	人数	割合
1位	通話	176人	90.7%
2位	メール	81人	41.8%
3位	デジタルカメラ	29人	14.9%
4位	インターネット	12人	6.2%

図表 24 情報通信機器の利用状況と利用希望 ⑩



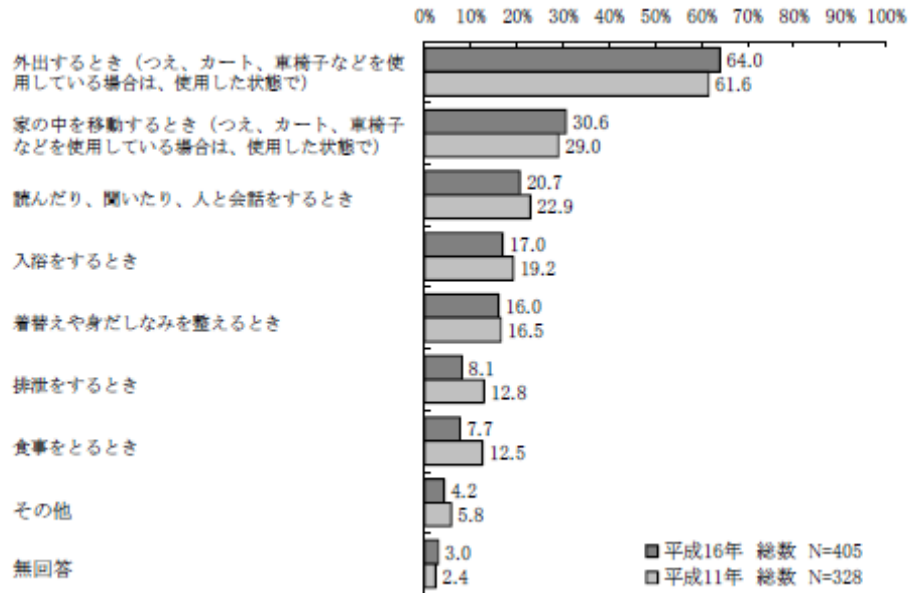
D 生活／楽しみ／興味

図表 25 仕事と個人生活をバランスよく両立させるために時間をとりたい活動 ②

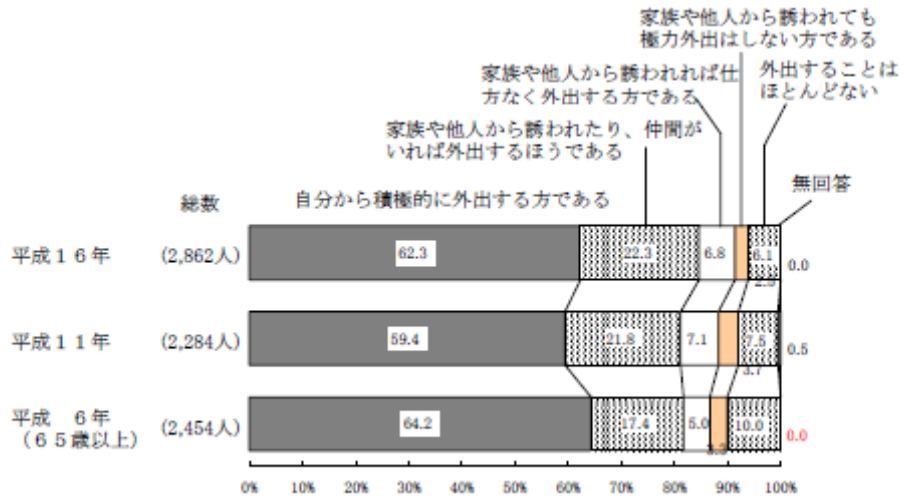
(単位:%)

	全体	性別		性別・年齢別											
		男性	女性	男性						女性					
				20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
n	6,586	2,962	3,624	314	387	431	583	676	571	323	544	624	800	760	573
趣味	43.7	44.3	43.2	46.2	46.8	46.9	51.3	45.7	30.8	45.5	46.0	48.2	48.3	42.9	27.1
健康づくり	36.7	35.5	37.8	18.8	16.5	32.7	38.8	45.7	44.1	16.1	16.5	35.1	46.0	49.9	45.5
友人とのつきあい	34.1	29.0	38.2	45.9	32.6	28.8	29.0	25.9	21.2	50.5	36.6	36.5	38.0	40.7	31.6
家族のだんらん	28.7	28.8	28.6	27.7	43.4	39.0	28.3	21.7	20.8	32.2	39.9	35.3	26.3	21.2	21.5
報酬を得て行う仕事	15.8	16.3	15.4	27.1	23.8	18.1	21.1	12.0	4.2	22.3	31.3	19.2	14.8	8.3	2.4
ボランティア	11.4	10.9	11.8	6.4	2.8	10.2	13.6	16.1	10.7	6.2	6.1	9.5	17.3	17.8	7.5
勉強	10.6	10.5	10.6	21.0	15.0	14.4	9.4	7.1	3.9	14.2	16.2	15.1	9.3	7.8	4.0
自治会などの地域活動	9.9	13.6	6.9	3.2	6.2	12.3	18.2	17.5	16.3	2.5	3.9	5.8	9.4	10.4	5.6
家事	6.8	3.2	9.8	5.1	4.4	4.4	2.2	3.1	1.4	10.8	16.7	12.8	6.9	8.0	5.9
子育て	6.4	4.9	7.6	8.6	17.8	7.0	2.2	0.6	0.5	16.7	24.3	9.6	2.1	1.3	0.5
介護	3.3	2.7	3.8	2.5	1.0	1.6	3.6	3.7	2.5	1.9	1.8	4.2	5.3	5.4	2.3
その他	0.5	0.3	0.6	—	0.3	—	0.5	0.1	0.9	0.6	—	0.5	0.5	1.1	0.5
特にない	9.1	10.3	8.2	7.0	6.7	8.6	6.9	10.4	19.1	6.8	4.2	3.7	6.6	8.8	18.8
わからない	2.4	2.5	2.3	4.8	2.6	1.9	1.2	1.6	4.0	3.7	2.2	1.3	1.5	0.9	5.6

図表 26 不自由を感じるのはどんなときか ③

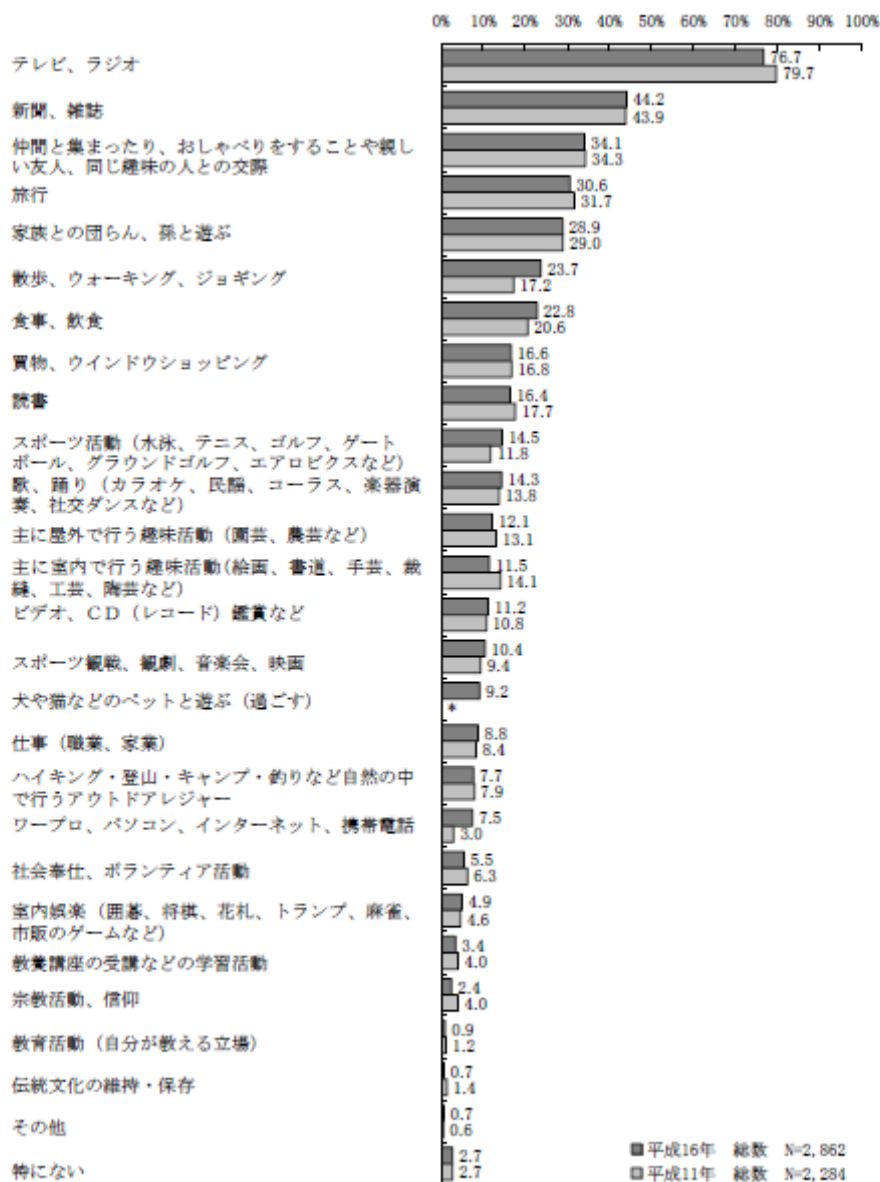


図表 27 日常の外出状況 ③



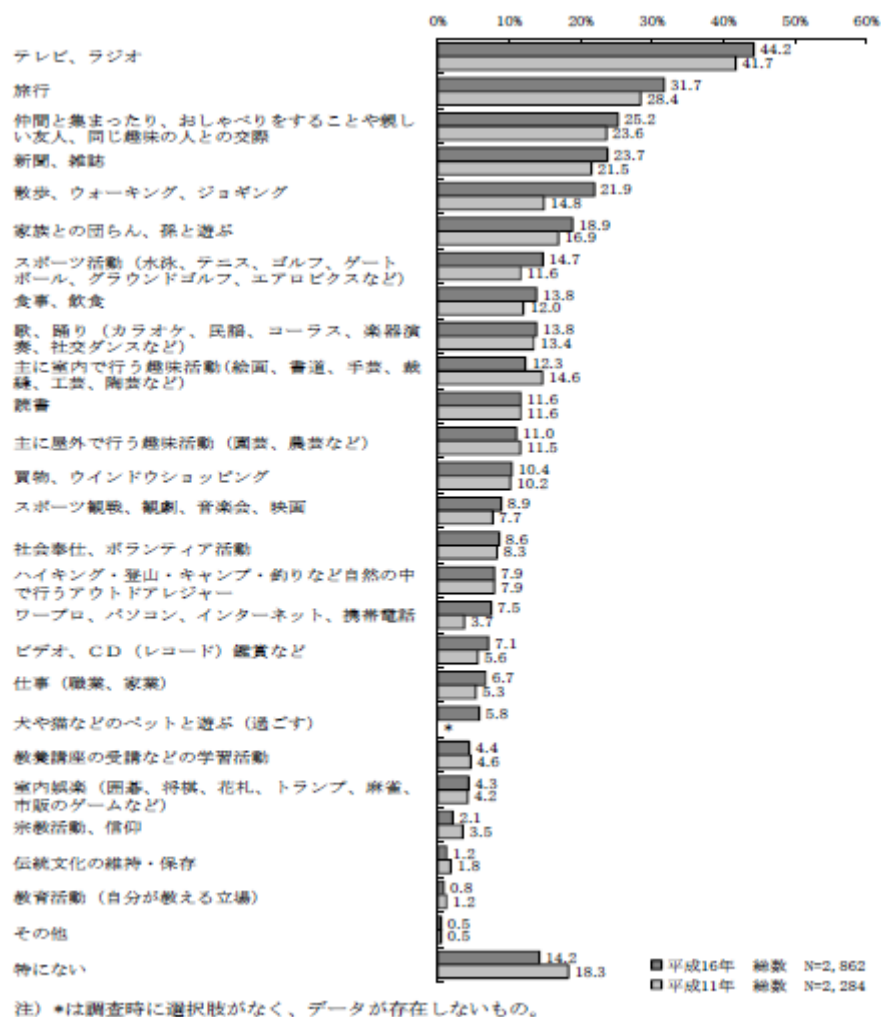
注) 平成6年は、65歳以上の者が対象。

図表 28 普段の楽しみ ③

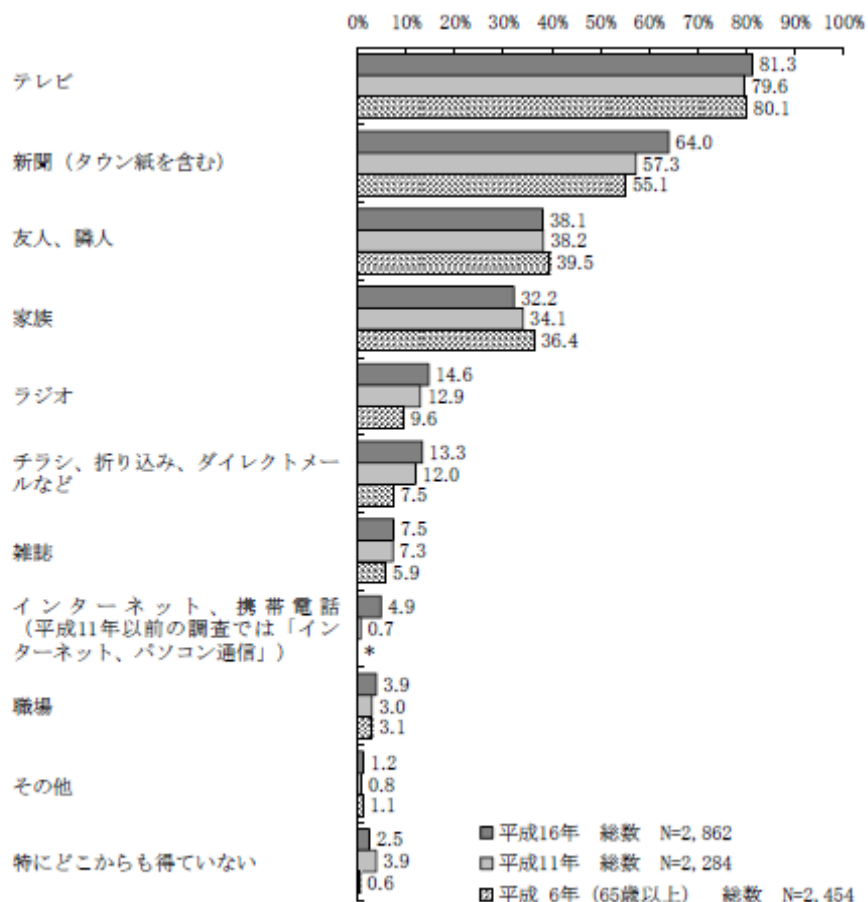


注）*は調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの。

図表 29 今後取り組んでみたい活動 ③



図表 30 日常生活情報の情報源 ③



注1) 平成6年は、65歳以上の者が対象。

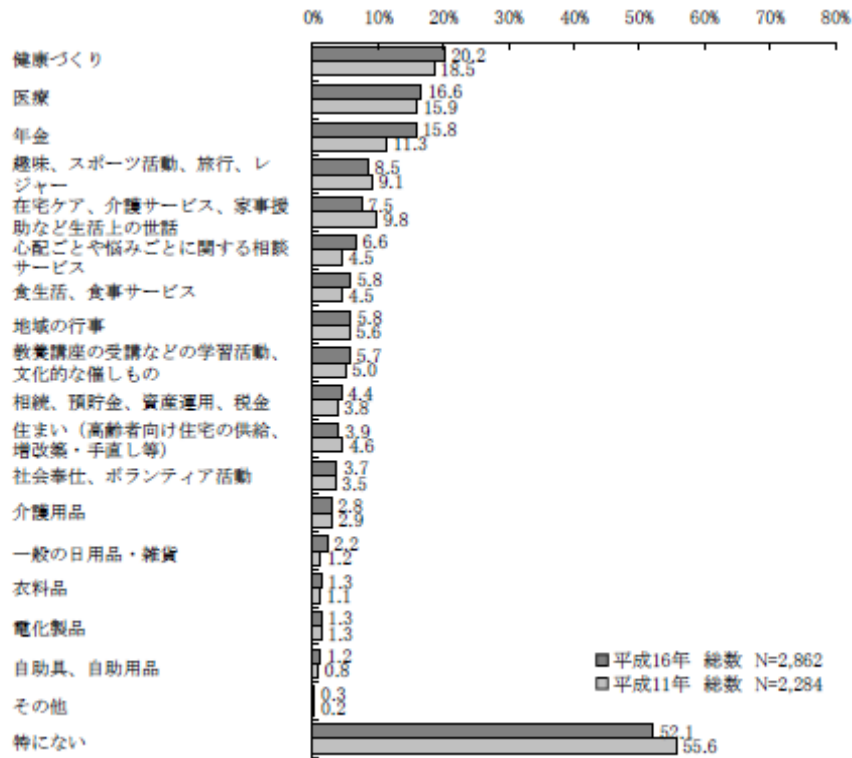
注2) *は調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの。

図表 31 日常生活情報について不満な点 ③

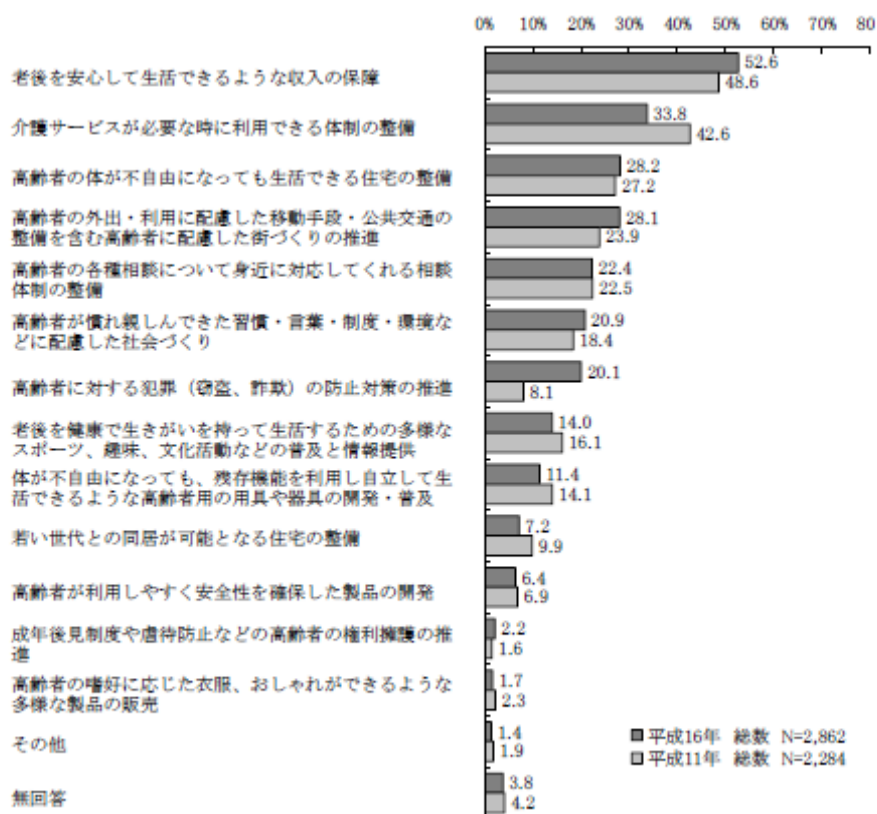
	総数	必要な情報が乏しい	情報が遅い	情報の内容がわかりにくい	字が小さくてよめない	どこから情報を得たらよいかわからない	どの情報が信頼できるかわからない
	人	%	%	%	%	%	%
総数	2,862	6.1	3.1	8.7	14.1	5.6	11.5
〔性別〕							
男性	1,329	7.5	3.5	8.1	10.4	3.9	10.3
女性	1,533	4.8	2.7	9.2	17.4	7.0	12.5
〔年齢別〕							
60～64歳	785	6.0	4.7	11.7	13.1	5.9	15.2
65～69歳	735	7.3	3.4	7.9	15.8	5.7	12.2
70～74歳	669	6.0	2.2	6.7	13.5	5.7	9.9
75～79歳	386	4.9	1.8	8.8	13.7	5.2	7.8
80～84歳	206	5.3	1.9	7.8	15.0	5.3	9.7
85歳以上	81	3.7	-	4.9	13.6	3.7	3.7
〔経済的状況〕							
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	456	5.3	2.9	4.2	10.7	2.9	8.6
家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	1,612	5.1	3.0	9.2	14.0	4.8	11.8
家計にゆとりがなく、多少心配である	624	8.0	3.0	10.3	16.7	8.3	12.8
家計が苦しく、非常に心配である	140	12.1	4.3	10.7	15.7	10.7	11.4
わからない	30	3.3	3.3	6.7	10.0	10.0	6.7

	情報量が多すぎる	情報収集に関心がない	その他の不満	特に不満はない	回答計
	%	%	%	%	%
総数	8.8	3.4	0.3	62.6	124.2
〔性別〕					
男性	9.3	3.5	0.5	63.9	120.9
女性	8.3	3.3	0.3	61.6	127.0
〔年齢別〕					
60～64歳	12.1	1.9	0.6	58.7	129.9
65～69歳	10.6	3.5	0.5	58.8	125.9
70～74歳	6.3	4.0	-	65.3	119.6
75～79歳	6.7	5.4	-	66.8	121.2
80～84歳	3.4	2.4	-	68.4	119.4
85歳以上	3.7	3.7	1.2	79.0	117.3
〔経済的状況〕					
家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている	7.7	2.6	0.4	70.8	116.0
家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている	8.7	3.1	0.2	63.9	123.9
家計にゆとりがなく、多少心配である	10.6	3.8	0.3	55.8	129.6
家計が苦しく、非常に心配である	6.4	5.7	1.4	50.7	129.3
わからない	3.3	10.0	-	70.0	123.3

図表 32 欲しい日常生活情報 ③



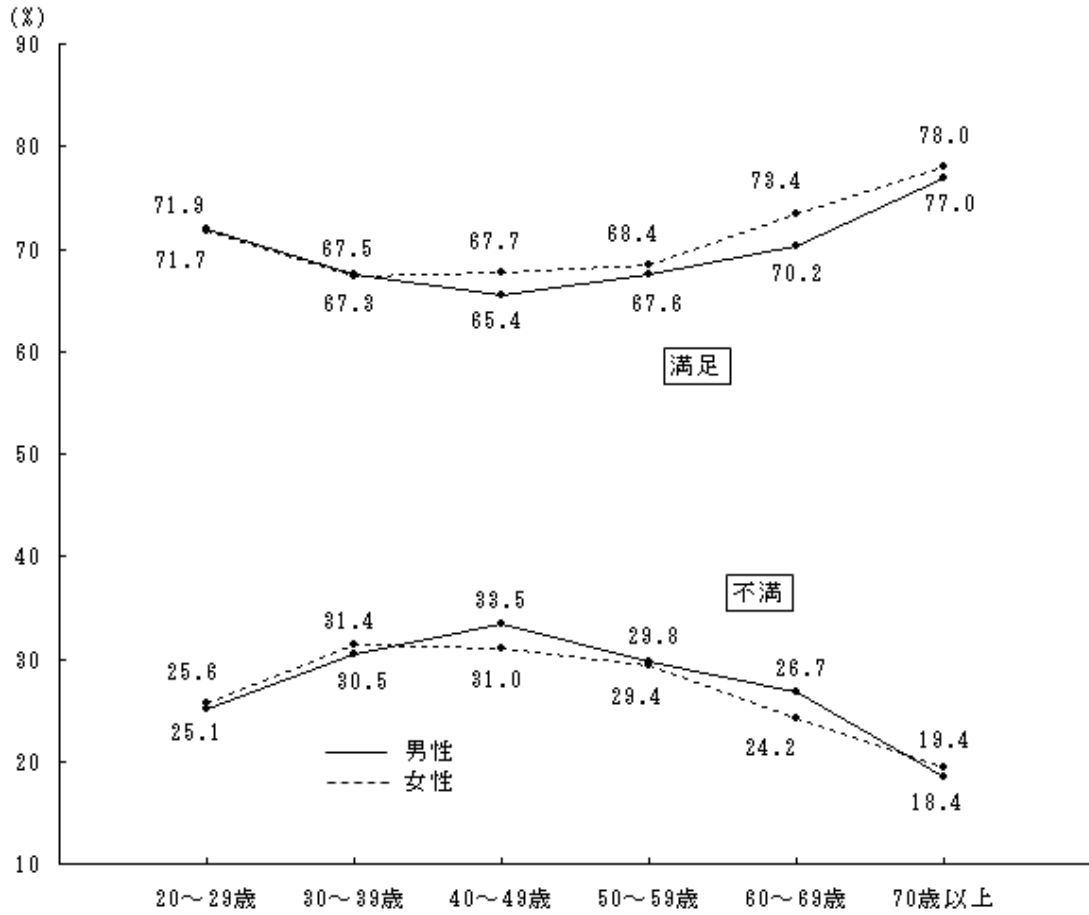
図表 33 日々の暮らしに関し社会として重点を置くべきもの ③



図表 34 現在の生活の各面での満足度（住生活、性・年齢別） ④

図16 現在の生活の各面での満足度

— 住生活 —
— 性・年齢別 —

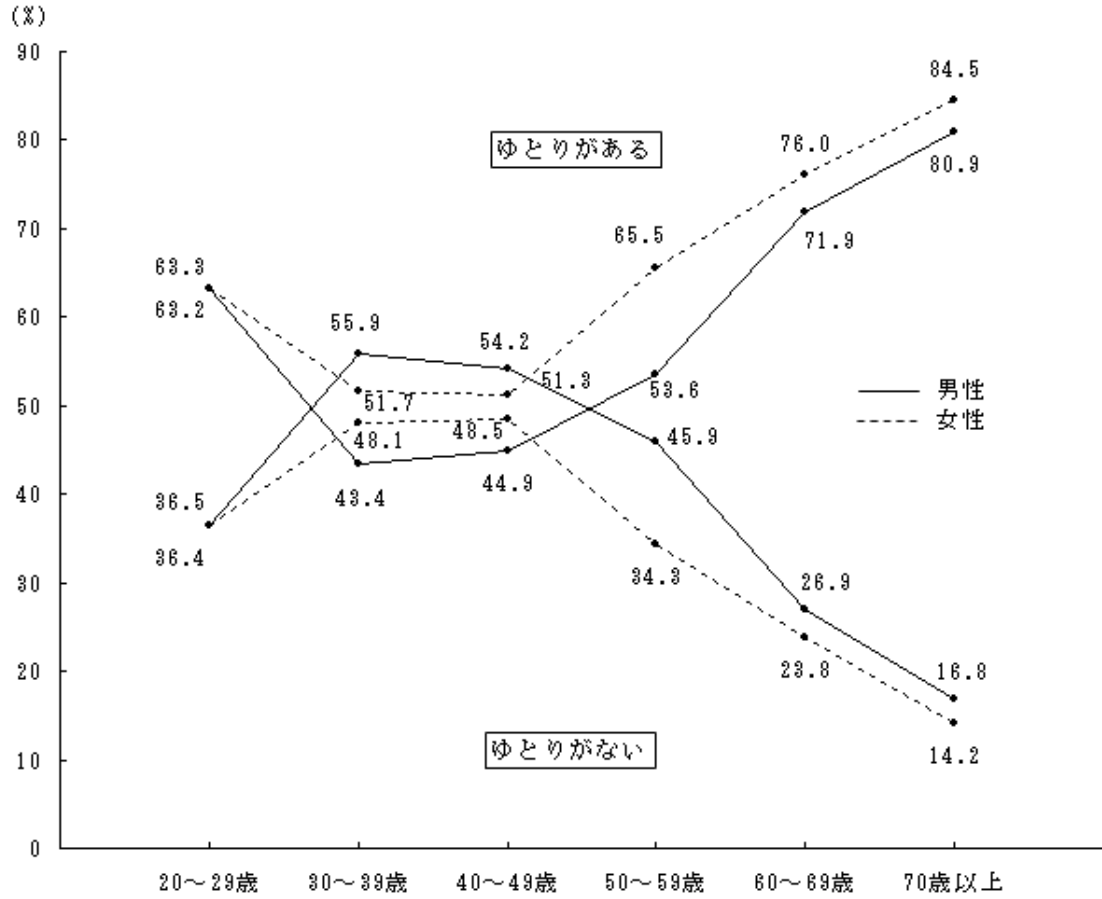


(注) 満足→「満足している」+「まあ満足している」
 不満→「やや不満だ」+「不満だ」

図表 35 時間のゆとりの有無（性・年齢別） ④

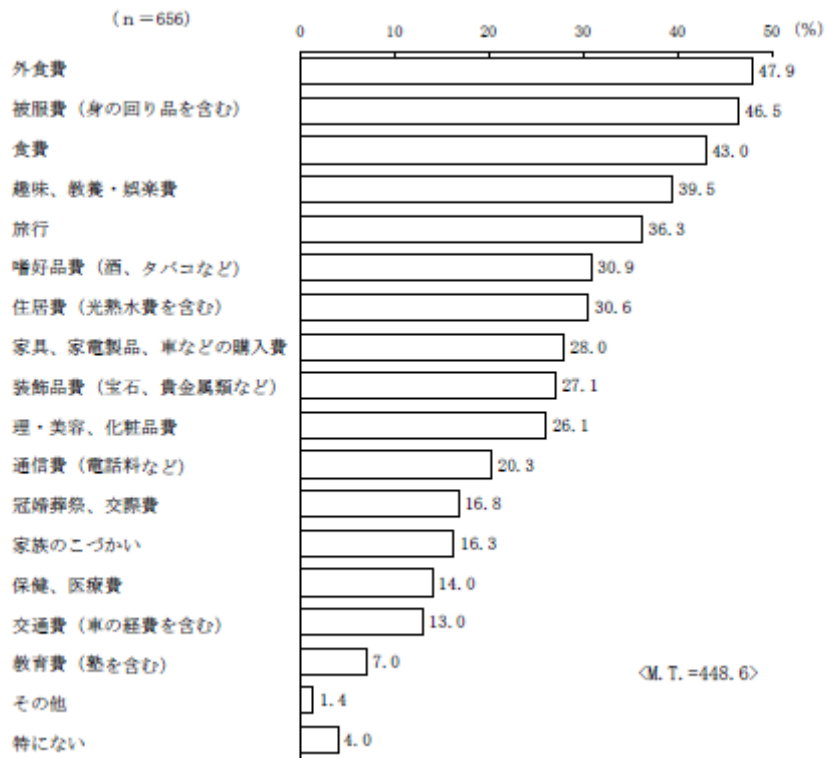
図35 時間のゆとりの有無

— 性・年齢別 —

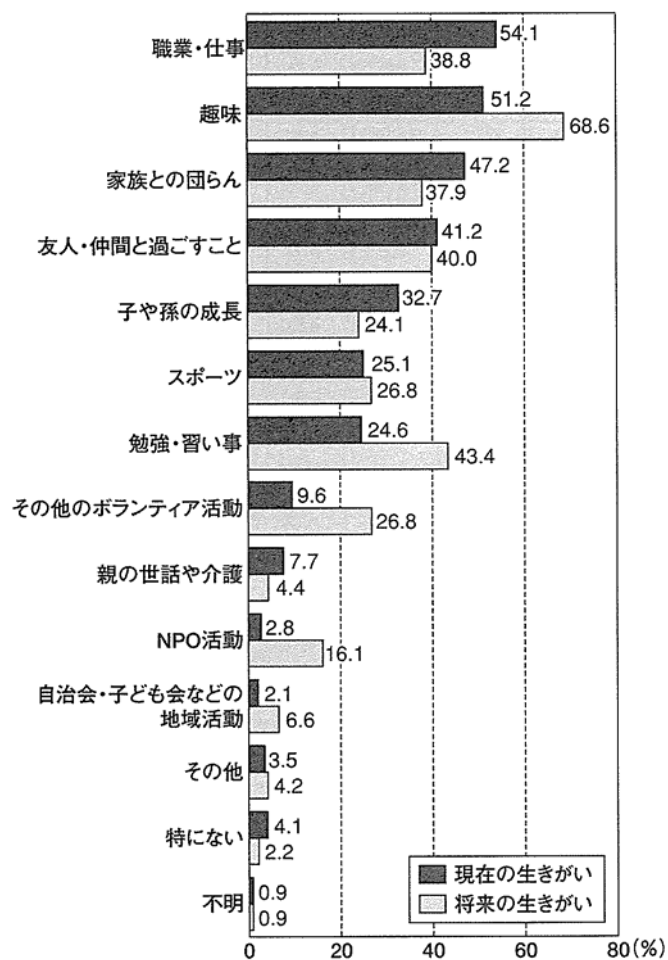


(注) ゆとりがある→「かなりゆとりがある」+「ある程度ゆとりがある」
 ゆとりがない→「あまりゆとりがない」+「ほとんどゆとりがない」

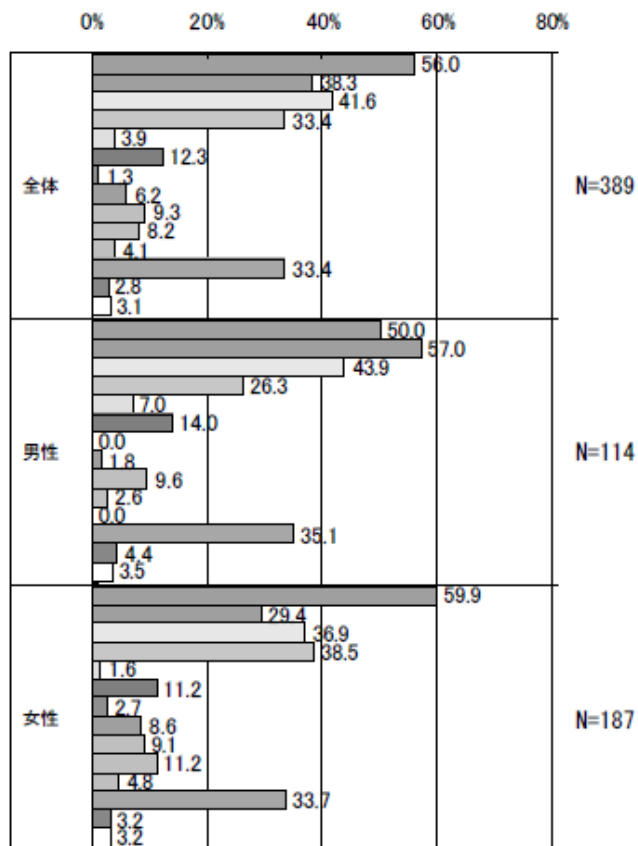
図表 36 今後切りつめていくもの ⑤



図表 37 団塊世代の現在の生きがいと将来の生きがいの比較 ⑥

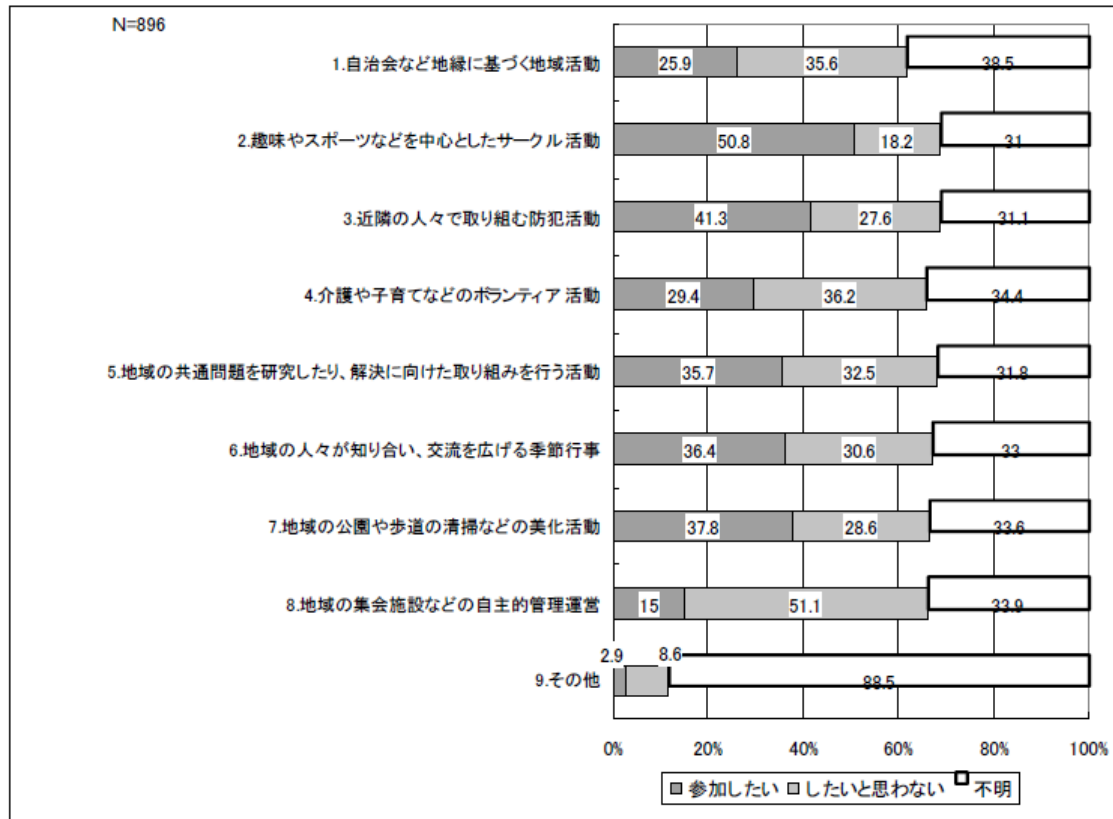


図表 38 勉強・習い事の内容 ⑥



- 趣味・レいごご(華道・茶道・絵画・書道・音楽・囲碁・将棋など)
- 一般教養(歴史・政治・経済・文学など)
- 健康・スポーツに関するもの
- パソコン・ワープロ・インターネットなど
- 経理・簿記などの仕事に役立つ事務
- 保健・食生活・料理・教育など家庭生活に関するもの
- 人権・男女平等
- 福祉問題
- 環境問題・ごみ問題
- 介護の知識・技術
- 手話・点字
- 英会話などの語学
- その他
- 不明

図表 39 地域活動への将来の参加希望 ⑥



図表 40 普段どのようなことをしているか ⑦

<普段どのようなことをしていますか> (回答者数318人 複数回答)

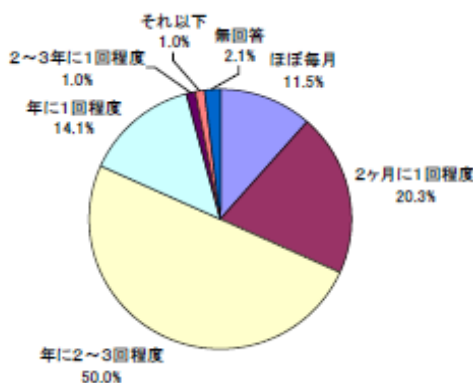
順位 ()内は03年	項目	人数	割合 ()内は03年
1位 (1位)	趣味を楽しんでいる	252人	79.2% (74.3%)
2位 (3位)	国内旅行に行っている	192人	60.4% (54.2%)
3位 (2位)	知人・友人と会っている	184人	57.9% (58.4%)
4位 (5位)	海外旅行に行っている	109人	34.3% (30.8%)
5位 (4位)	知識や教養を高める勉強	108人	34.0% (33.5%)
6位 (6位)	ボランティア活動をしている	41人	12.9% (12.6%)

図表 41 どのような趣味を持っているか ⑦

<どのような趣味を持っていますか> (回答者数252人)

順位 ()内は03年	項目	人数	割合 ()内は03年
1位 (1位)	読書	116人	46.0% (44.4%)
2位 (3位)	スポーツ	102人	40.5% (41.9%)
3位 (2位)	園芸	93人	36.9% (43.5%)
4位 (4位)	音楽鑑賞	74人	29.4% (31.9%)
5位 (8位)	書道	38人	15.1% (6.9%)
6位 (5位)	手芸	37人	14.7% (18.5%)
7位 (6位)	絵画	33人	13.1% (11.7%)
8位 (7位)	囲碁、将棋	24人	9.5% (8.9%)

図表 42 国内旅行に行く頻度 ⑦

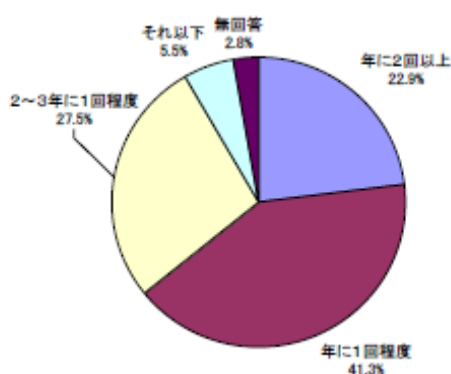


図表 43 国内旅行に行く目的 ⑦

<国内旅行に行く目的> (回答者数192人 複数回答)

順位	項目	人数	割合 ()内は03年
1位	観光するため	144人	75.0% (71.3%)
2位	四季折々の自然を楽しむため	136人	70.8% (74.6%)
3位	温泉をめぐるため	113人	58.9% (56.9%)
4位	その土地の料理を楽しむため	86人	44.8% (47.0%)
5位	海や山、高原などでリゾートを楽しむため	62人	32.3% (34.3%)
6位	知識・教養を高めるため	28人	14.6% (17.1%)

図表 44 海外旅行に行く頻度 ⑦



図表 45 海外旅行に行く目的 ⑦

<海外旅行に行く目的> (回答者数109人 複数回答)

順位	項目	人数	割合 ()内は03年
1位	観光するため	96人	88.1% (87.4%)
2位	自然に触れ合うため	52人	47.7% (49.5%)
3位	その土地の料理を楽しむため	37人	33.9% (42.7%)
4位	知識、教養を高めるため	33人	30.3% (28.2%)
5位	ショッピングをするため	23人	21.1% (26.2%)
6位	リゾートを楽しむため	20人	18.3% (28.2%)
7位	語学を学ぶため	4人	3.7% (0%)

図表 46 具体的にしている勉強 ⑦

<具体的にしている勉強> (回答者数108人 複数回答)

順位 ()内は03年	項目	人数	割合 ()内は03年
1位 (1位)	IT関連	43人	39.8% (51.8%)
2位 (4位)	英語	26人	24.1% (17.9%)
2位 (3位)	歴史、地理	26人	24.1% (19.6%)
4位 (2位)	文学	22人	20.4% (20.5%)
5位 (5位)	資格取得を目指した勉強	13人	12.0% (14.3%)
6位 (6位)	英語以外の外国語	11人	10.2% (10.7%)

図表 47 今、お金をかけても良いと思うこと ⑦

<今、お金をかけても良いと思うこと> (回答者数318人 複数回答)

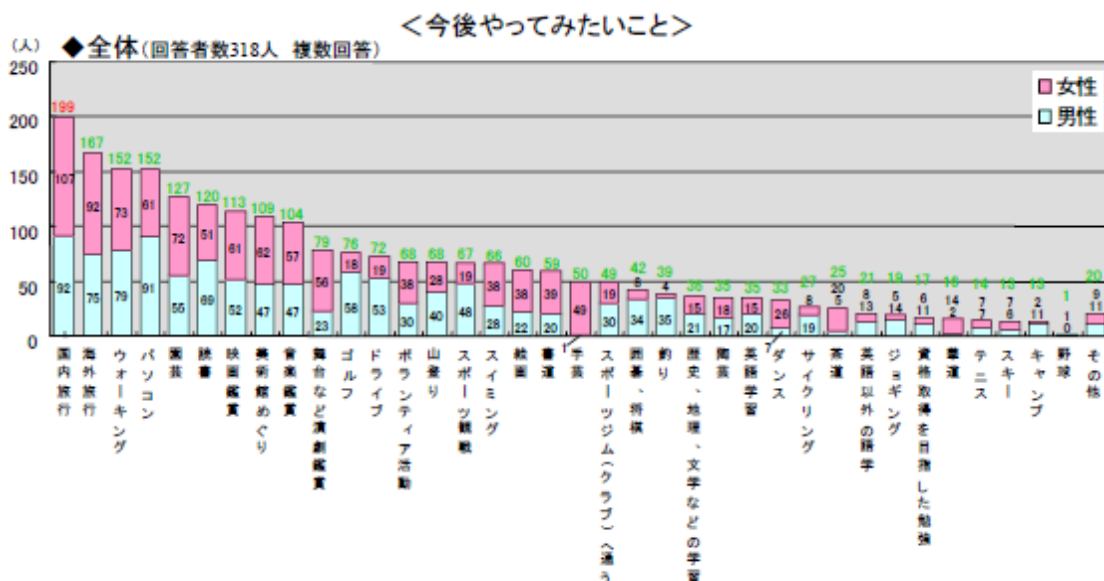
順位	項目	人数	割合()内は03年
1位	自分の健康に関すること	257人	80.8% (75.4%)
2位	旅行やレジャーに関すること	231人	72.6% (66.8%)
3位	自分の趣味に関すること	205人	64.5% (67.1%)
4位	子供や孫に関すること	161人	50.6% (46.4%)
5位	家や住まいに関すること	151人	47.5% (37.4%)
6位	配偶者に関すること	100人	31.4% (31.4%)
7位	自分の習い事に関すること	96人	30.2% (30.5%)

図表 48 実践している健康法があるか ⑦

<実践している健康法> (回答者数255人 自由回答)

順位	回答	人数	割合
1位	ウォーキング	62人	24.3%
2位	バランスの良い食事	48人	18.8%
3位	ラジオ体操	22人	8.6%
4位	サプリメント	20人	7.8%
5位	ストレッチ	19人	7.5%
6位	健康食品	12人	4.7%
7位	酢	11人	4.3%
8位	ビタミン類	10人	3.9%
9位	ジョギング	9人	3.5%
9位	スポーツジム	9人	3.5%
11位	ゴルフ	8人	3.1%
12位	青汁	5人	2.0%
12位	社交ダンス	5人	2.0%
12位	アガリクス	5人	2.0%
15位	プロポリス	4人	1.6%
15位	ロイヤルゼリー	4人	1.6%
17位	早寝早起き	3人	1.2%
18位	クロレラ	2人	0.8%
18位	アロエ	2人	0.8%

図表 49 今後やってみたいこと ⑦



◆男性(回答者数159人 複数回答)

順位 ()内は03年	項目	人数	割合 ()内は03年
1位 (2位)	国内旅行	92人	57.9% (49.1%)
2位 (1位)	パソコン	91人	57.2% (50.3%)
3位 (4位)	ウォーキング	79人	49.7% (39.5%)
4位 (3位)	海外旅行	75人	47.2% (46.1%)
5位 (10位)	読書	69人	43.4% (32.3%)
6位 (5位)	ゴルフ	58人	36.5% (35.9%)
7位 (7位)	園芸	55人	34.6% (34.7%)
8位 (8位)	ドライブ	53人	33.3% (33.5%)
9位 (5位)	映画鑑賞	52人	32.7% (35.9%)
10位 (9位)	スポーツ観戦	48人	30.2% (32.9%)
11位 (12位)	音楽鑑賞	47人	29.6% (26.3%)
11位 (11位)	美術館めぐり	47人	29.6% (29.9%)
13位 (12位)	写真	45人	28.3% (26.3%)
14位 (15位)	山歩き	40人	25.2% (24.0%)
15位 (14位)	釣り	35人	22.0% (25.7%)
16位 (16位)	囲碁、将棋	34人	21.4% (22.2%)
17位 (18位)	スポーツジム(クラブ)へ通う	30人	18.9% (18.0%)
17位 (17位)	ボランティア活動	30人	18.9% (21.6%)
19位 (20位)	スイミング	28人	17.6% (13.2%)
20位 (21位)	舞台など演劇鑑賞	23人	14.5% (12.0%)
21位 (24位)	絵画	22人	13.8% (10.8%)
22位 (21位)	歴史、地理、文学などの学習	21人	13.2% (12.0%)
23位 (21位)	書道	20人	12.6% (12.0%)
23位 (19位)	英語学習	20人	12.6% (16.2%)
25位 (27位)	サイクリング	19人	11.9% (9.0%)
26位 (26位)	陶芸	17人	10.7% (9.6%)
27位 (25位)	ジョギング	14人	8.8% (10.2%)
28位 (28位)	英語以外の語学	13人	8.2% (6.6%)
29位 (29位)	キャンプ	11人	6.9% (6.0%)
29位 (29位)	資格取得を目指した勉強	11人	6.9% (6.0%)

◆女性(回答者数159人 複数回答)

順位 ()内は03年	項目	人数	割合 ()内は03年
1位 (1位)	国内旅行	107人	67.3% (63.5%)
2位 (2位)	海外旅行	92人	57.9% (51.5%)
3位 (5位)	ウォーキング	73人	45.9% (41.3%)
4位 (3位)	園芸	72人	45.3% (45.5%)
5位 (7位)	美術館めぐり	62人	39.0% (37.7%)
6位 (10位)	パソコン	61人	38.4% (33.5%)
6位 (4位)	映画鑑賞	61人	38.4% (41.9%)
8位 (6位)	音楽鑑賞	57人	35.8% (39.5%)
9位 (8位)	舞台など演劇鑑賞	56人	35.2% (37.1%)
10位 (9位)	読書	51人	32.1% (34.1%)
11位 (11位)	手芸	49人	30.8% (28.1%)
12位 (13位)	書道	39人	24.5% (20.4%)
13位 (15位)	絵画	38人	23.9% (19.8%)
13位 (16位)	スイミング	38人	23.9% (19.2%)
13位 (12位)	ボランティア活動	38人	23.9% (22.2%)
16位 (18位)	山歩き	28人	17.6% (15.6%)
17位 (19位)	ダンス	26人	16.4% (14.4%)
18位 (29位)	茶道	20人	12.6% (6.0%)
19位 (27位)	スポーツジム(クラブ)へ通う	19人	11.9% (7.8%)
19位 (17位)	スポーツ観戦	19人	11.9% (16.2%)
19位 (13位)	ドライブ	19人	11.9% (20.4%)
22位 (22位)	陶芸	18人	11.3% (12.0%)
22位 (23位)	ゴルフ	18人	11.3% (10.8%)
24位 (21位)	写真	17人	10.7% (12.6%)
25位 (25位)	英語学習	15人	9.4% (10.2%)
25位 (20位)	歴史、地理、文学などの学習	15人	9.4% (13.2%)
27位 (23位)	華道	14人	8.8% (10.8%)
28位 (26位)	サイクリング	8人	5.0% (8.4%)
28位 (31位)	囲碁、将棋	8人	5.0% (4.0%)
28位 (30位)	英語以外の語学	8人	5.0% (4.8%)

図表 50 趣味（スポーツ関連） ⑩

図表 2-1 趣味（スポーツ関連） (%)

	現在の趣味、打ち込んでいること	
1位	ゴルフ	22.8
2位	ジョギング・水泳など美容健康スポーツ	17.4
3位	登山・トレッキング・スキー等 アウトドアスポーツ	16.1

	今後も続けたいこと	
1位	ゴルフ	27.5
2位	登山・トレッキング・スキー等 アウトドアスポーツ	20.8
3位	ジョギング・水泳など美容健康スポーツ	20.1

	関心がある事項、今後始めたい趣味等	
1位	ジョギング・水泳など美容健康スポーツ	22.8
2位	登山・トレッキング・スキー等 アウトドアスポーツ	19.5
3位	釣り	15.4

図表 51 趣味（スポーツ以外）（複数回答） ⑩

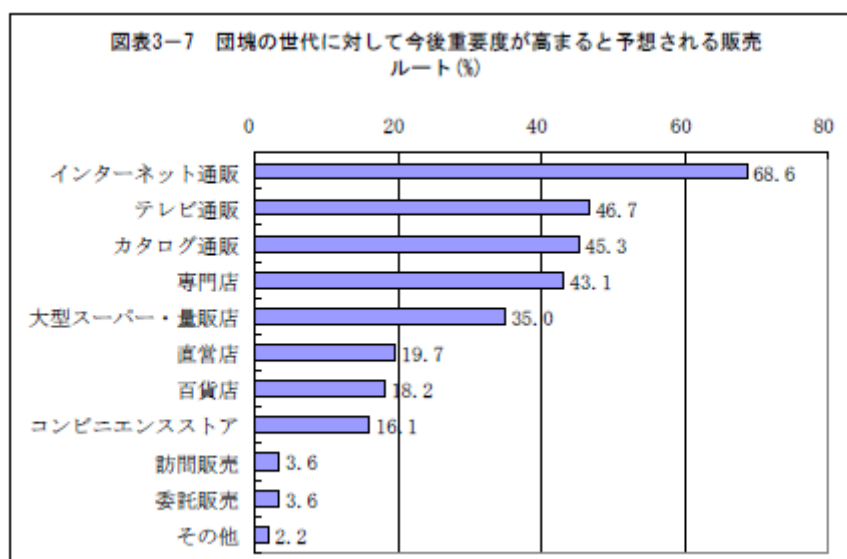
	現在の趣味、打ち込んでいること	
1位	スポーツ観戦	17.4
2位	国内旅行	17.4
3位	ガーデニング・日曜大工・庭いじりなど	16.1
4位	ドライブ・車	15.4
5位	映画・演劇・美術・音楽鑑賞など	13.4

	今後も続けたいこと	
1位	国内旅行	33.6
2位	ドライブ・車	24.8
3位	スポーツ観戦	24.2
4位	映画・演劇・美術・音楽鑑賞など	22.1
5位	ガーデニング・日曜大工・庭いじりなど	20.1
5位	食べ歩きなど外での飲食	20.1

	関心がある事項、今後始めたい趣味等	
1位	ガーデニング・日曜大工・庭いじりなど	19.5
2位	絵画・陶芸・手芸などクラフト	18.8
3位	国内旅行	17.4
4位	パソコン関連	15.4
5位	家庭菜園・農作業	14.8

図表 52 団塊の世代に対して今後重要度が高まると予想される販売ルート（複数回答）

⑩



図表 53 高齢者の1日の生活時間 ⑫

表5 高齢者の1日の生活時間 (平成13年)

単位 時間.分

	1次活動		2次活動			3次活動		
		うち、睡眠		うち、仕事	うち、家事関連	うち、在宅型余暇活動	うち、積極的余暇活動	
男								
30歳台	10.02	7.33	8.46	7.17	0.33	5.12	3.06	1.00
40歳台	10.01	7.28	8.22	7.06	0.27	5.37	3.25	1.02
50歳台	10.18	7.37	7.45	6.31	0.27	5.57	3.43	1.01
60～64歳	10.53	7.55	5.19	4.05	0.46	7.48	4.43	1.34
65～74歳	11.28	8.21	3.42	2.34	0.56	8.50	5.42	1.35
75歳以上	12.26	9.09	1.57	0.57	0.58	9.38	6.52	1.14
女								
30歳台	10.17	7.21	8.23	2.54	5.06	5.20	3.02	0.50
40歳台	9.52	6.58	8.38	3.35	4.40	5.30	3.21	0.48
50歳台	10.16	7.11	7.51	3.15	4.18	5.53	3.33	0.56
60～64歳	10.47	7.31	6.37	2.06	4.22	6.36	3.59	1.06
65～74歳	11.21	7.58	5.19	1.08	4.06	7.20	4.40	1.04
75歳以上	12.27	8.58	3.04	0.24	2.40	8.28	6.15	0.43

1次活動…睡眠、食事などの生理的に必要な活動

2次活動…仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動…余暇活動など、各人の自由時間における活動

家事関連…「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」

在宅型余暇活動…「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」

積極的余暇活動…「学習・研究」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」

資料：「平成13年社会生活基本調査」

図表 54 定年後に楽しみたいこと ⑬

<夫>

自分で楽しみたいこと ベスト10 (%)	
1	パソコン・インターネット 67.9
2	スポーツ 43.2
3	写真撮影 35.9
4	散歩・ウォーキング 32.9
5	株取引 32.5
6	国内旅行 30.3
7	習い事 29.5
8	研究活動 27.8
9	ボランティア活動 26.9
10	海外旅行 26.1

夫婦で楽しみたいこと ベスト10 (%)	
1	国内旅行 80.3
2	海外旅行 70.5
3	食べ歩き 62.0
4	日常の買い物や家事 47.4
5	映画鑑賞 47.0
6	散歩・ウォーキング 45.7
7	音楽鑑賞・コンサート 41.5
8	ショッピング 39.7
9	孫の世話 38.9
10	美術鑑賞 32.9

友人と楽しみたいこと ベスト10 (%)	
1	スポーツ 41.9
2	国内旅行 20.5
3	カラオケ 16.2
4	特にない 15.4
5	コミュニティ活動 15.0
6	ボランティア活動 15.0
7	食べ歩き 13.2
8	パソコン・インターネット 12.8
9	海外旅行 10.7
10	若い人になにかを教える 9.0

<妻>

自分で楽しみたいこと ベスト10 (%)	
1	習い事 58.5
2	ショッピング 53.0
3	国内旅行 47.4
4	パソコン・インターネット 43.2
5	日常の買い物や家事 39.7
6	料理 39.3
7	海外旅行 38.0
8	映画鑑賞 35.5
9	音楽鑑賞・コンサート 34.6
10	食べ歩き 33.3
10	ガーデニング 33.3

夫婦で楽しみたいこと ベスト10 (%)	
1	国内旅行 67.9
2	海外旅行 64.1
3	散歩・ウォーキング 46.2
4	映画鑑賞 42.7
5	食べ歩き 40.2
6	孫の世話 40.2
7	日常の買い物や家事 39.3
8	音楽鑑賞・コンサート 35.9
9	美術鑑賞 31.6
10	ガーデニング 31.6

友人と楽しみたいこと ベスト10 (%)	
1	食べ歩き 55.1
2	国内旅行 53.0
3	音楽鑑賞・コンサート 33.3
4	海外旅行 31.2
5	映画鑑賞 28.6
6	ショッピング 26.1
7	スポーツ 22.6
8	美術鑑賞 22.6
9	カラオケ 20.9
10	習い事 19.7

①「平成 17 年 国民生活基礎調査」

厚生労働省大臣官房統計情報部

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa05/index.html>

(1) 調査対象 : 全国の世帯及び世帯員

(2) 調査方法 : 調査員による訪問、面接聴取法

(3) 調査事項

世帯票 …………… 単独世帯の区分、5月中の家計支出額、世帯主との続柄、性、出生年月、配偶者の有無、医療保険の加入状況、就業状況、公的年金の加入状況、公的年金・恩給の受給状況等

所得票 …………… 所得の種類別金額、所得税等の額、生活意識の状況等

(4) 調査実施期間

世帯票 …………… 平成 17 年 6 月 2 日 (木)

所得票 …………… 平成 17 年 7 月 14 日 (木)

(6) 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

なお、調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりであった。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数 (集計不能のものを除いた数)
世帯票	56,125 世帯	45,001 世帯	44,999 世帯
所得票	9,409 世帯	7,038 世帯	6,788 世帯

②「社会意識に関する世論調査（平成 17 年 2 月）」

内閣府大臣官房政府広報室

<http://www8.cao.go.jp/survey/h16/h16-shakai/index.html>

- (1) 調査対象 : 全国 20 歳以上の者
- (2) 調査方法 : 調査員による個別面接聴取
- (3) 調査事項
 - ア. 社会に対する意識について
 - イ. 国に対する意識について
 - ウ. 社会の在り方等に関する意識について
- (4) 調査実施期間 : 平成 17 年 1 月 27 日～ 2 月 6 日
- (5) 標本抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- (6) 調査対象者数及び有効回収数
 - ア. 標本数 10,000 人
 - イ. 有効回収数(率) 6,586 人 (65.9%)
 - ウ. 調査不能数 (率) 3,414 人 (34.1%)
- (7) 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
				%					%
男	20～29歳	698	314	45.0	女	20～29歳	656	323	49.2
	30～39歳	757	387	51.1		30～39歳	854	544	63.7
	40～49歳	728	431	59.2		40～49歳	885	624	70.5
性	50～59歳	935	583	62.4	性	50～59歳	1,055	800	75.8
	60～69歳	971	676	69.6		60～69歳	971	760	78.3
	70歳以上	753	571	75.8		70歳以上	737	573	77.7
計		4,842	2,962	61.2	計		5,158	3,624	70.3

③「平成 16 年度高齢者の日常生活に関する意識調査結果」

内閣府共生社会政策統括官

http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h16_nitizyou/index.html

- (1) 調査対象 : 全国の 60 歳以上の男女
- (2) 調査方法 : 調査員による面接聴取法
- (3) 調査事項
 - ア. 調査対象者の基本属性に関する事項
 - イ. 基本的生活に関する事項
 - ウ. 衣類に関する事項
 - エ. 食生活に関する事項
 - オ. 住宅に関する事項
 - カ. 日常生活の行動・意識に関する事項
 - キ. 日常的楽しみに関する事項
 - ク. 日常生活情報に関する事項
 - ケ. その他
- (4) 調査実施期間 : 平成 16 年 11 月 18 日～12 月 5 日
- (5) 標本抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- (6) 調査対象者数及び有効回収数
 - ア. 標本数 4,000 (260 地点)
 - イ. 有効回収数(率) 2,862 (71.6%)
 - ウ. 調査不能数 (率) 1,138 (28.5%)

3 調査対象者の基本属性

(1) 性別 (F 1)

	総数	男性	女性
平成 16 年	2,862 人 100.0%	1,329 人 46.4%	1,533 人 53.6%
平成 11 年	2,284 人 100.0%	1,054 人 46.1%	1,230 人 53.9%
平成 6 年 (65 歳以上)	2,454 人 100.0%	1,121 人 45.7%	1,333 人 54.3%

注) 平成 6 年は、65 歳以上の者が調査対象。

(2) 年齢 (F 2)

	総数	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80～ 84 歳	85 歳 以上
平成 16 年	2,862 人 100.0%	785 人 27.4%	735 人 25.7%	669 人 23.4%	386 人 13.5%	206 人 7.2%	81 人 2.8%
平成 11 年	2,284 人 100.0%	556 人 24.3%	689 人 30.2%	549 人 24.0%	313 人 13.7%	130 人 5.7%	47 人 2.1%
平成 6 年 (65 歳以上)	2,454 人 100.0%	*	942 人 38.4%	720 人 29.3%	506 人 20.6%	286 人 11.7%	

注) 平成 6 年は、65 歳以上の者が調査対象。

④「国民生活に関する世論調査（平成 17 年 6 月調査）」

内閣府大臣官房政府広報室

<http://www8.cao.go.jp/survey/h17/h17-life/index.html>

1. 調査対象：全国 20 歳以上の者
2. 調査方法：調査員による個別面接聴取
3. 調査項目
 - (1) 現在の生活について（生活の向上感，満足度等）
 - (2) 今後の生活について（生活の見通し，力点等）
 - (3) 生き方，考え方について
 - (4) 政府に対する要望について
4. 調査時期
平成 17 年 6 月 23 日～ 7 月 3 日
5. 標本抽出方法：層化二段無作為抽出法
6. 調査対象者数及び有効回収数
 - (1) 標本数 10,000 人
 - (2) 有効回収数(率) 6,924 人 (69.2%)
 - (3) 調査不能数(率) 3,076 人 (30.8%)
7. 性・年齢別回収結果

性・年齢		標本数	回収数	回収率	性・年齢		標本数	回収数	回収率
				%					%
男 性	20～29歳	635	299	47.1	女 性	20～29歳	619	332	53.6
	30～39歳	859	440	51.2		30～39歳	844	605	71.7
	40～49歳	796	465	58.4		40～49歳	771	600	77.8
	50～59歳	1,015	645	63.5		50～59歳	992	797	80.3
	60～69歳	933	677	72.6		60～69歳	992	821	82.8
	70歳以上	711	566	79.6		70歳以上	833	677	81.3
計		4,949	3,092	62.5	計		5,051	3,832	75.9

⑤「都民生活に関する世論調査（平成 16 年 8 月）」

東京都生活文化局

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2004/11/60ebp107.htm>

- 1 調査対象 : 東京都全域に住む満 20 歳以上の男女個人女
- 2 調査方法 : 調査員による個別訪問面接聴取法
- 3 調査項目
 - (1)暮らし
 - (2)住んでいる地域
 - (3)東京
 - (4)都政への要望
 - (5)子どもの健全育成
- 4 調査実施期間 : 平成 16 年 8 月 27 日～9 月 12 日
- 5 標本抽出方法 : 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- 6 調査対象者数及び有効回収数
 - ア. 標本数 3,000 標本
 - イ. 有効回収数(率) 1,857 標本 (61.9%)
 - ウ. 未完了標本数 (率) 1,143 標本 (38.1%)

(1)性別

男	922	49.6
女	935	50.4

(2)年齢

	男		女	
20 代	122	6.6	114	6.1
30 代	149	8.0	158	8.5
40 代	154	8.3	152	8.2
50 代	188	10.1	174	9.4
60 代	173	9.3	183	9.9
70 歳以上	136	7.3	154	8.3

⑥ 「武蔵野市『団塊世代』市民アンケート調査報告書」

武蔵野市

[http://www.city.musashino.lg.jp/section/06010seifuku/pdf/dankai6-1.pdf#search=%E6%AD%A6%E8%94%B5%E9%87%8E%E5%B8%82%E3%80%8E%E5%9B%A3%E5%A1%8A%E4%B8%96%E4%BB%A3%E3%80%8F%E5%B8%82%E6%B0%91%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8'](http://www.city.musashino.lg.jp/section/06010seifuku/pdf/dankai6-1.pdf#search=%E6%AD%A6%E8%94%B5%E9%87%8E%E5%B8%82%E3%80%8E%E5%9B%A3%E5%A1%8A%E4%B8%96%E4%BB%A3%E3%80%8F%E5%B8%82%E6%B0%91%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8)

- (1) 調査対象 : 昭和 22 (1947) ~ 昭和 24 (1949) 年度生まれの市内在住の方 3,000 人
(無作為抽出)
- (2) 調査方法 : アンケート票を対象者に郵送配布、郵送回収
- (3) 調査実施期間 : 平成 16 年 2 月 13 日 (金) ~ 3 月 8 日 (月)
- (4) 調査対象者数及び有効回収数
配布数 3,000 通
回収数 907 通 (うち有効票数 896 通)
回収率 30.2% (有効回収率 29.9%)

⑦「2004 年度シニア世代実態調査」

株式会社日本通信教育連盟

<http://www.u-can.co.jp/company/news/20040915/release040915.pdf>

- (1) 調査対象 : 東京・大阪・名古屋圏に在住の 60～69 歳の男女
- (2) 調査方法 : FAX 調査
- (3) 調査実施期間 : 2004 年 8 月 1 日～8 月 15 日
- (4) 調査対象者数及び有効回収数

標本数 : 男性 159 名 女性 159 名 (合計 318 名)

⑧「平成 16 年度高齢社会白書－平成 16 年度高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況－」

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

<http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2004/zenbun/16index.html>

下記の事項に関する各種統計のとりまとめ

平成 15 年度 高齢化の状況及び高齢社会対策の実施の状況に関する年次報告

第 1 章 高齢化の状況

第 1 節 高齢化の状況

第 2 節 高齢者の状況

第 2 章 高齢社会対策の実施の状況

第 1 節 高齢社会対策の基本的枠組み

第 2 節 高齢社会対策の動き

第 3 節 分野別の施策の実施の状況

⑨「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査結果」

内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

http://www8.cao.go.jp/kourei/ishiki/h15_sougou/gaiyou.html

- (1) 調査対象 : 60 歳以上の男女
- (2) 調査方法 : 調査員による面接聴取法
- (3) 調査事項
 - ア 地域社会に参加するための環境に関する事項
 - イ 社会参加活動についての実態と意識に関する事項
 - ウ 地域活動についての考え方に関する事項
 - エ 世代間交流についての実態と意識に関する事項
- (4) 調査実施期間 : 平成 15 年 12 月 4 日～12 月 23 日
- (5) 標本抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- (6) 調査対象者数及び有効回収数
 - ア.標本数 4, 0 0 0 人
 - イ.有効回収数 (率) 2, 8 6 0 人 (7 1. 5%)
 - ウ.調査不能数 (率) 1, 1 4 0 人 (2 8. 5%)

⑩「高齢社会を豊かにする新産業への取組みとシニアのライフスタイルに関する調査報告書」

大阪府立産業開発研究所

<http://www.pref.osaka.jp/aid/chosa/04-94/04-94.html>

1 アンケート調査

(1) 団塊の世代の高齢化に向けた商品・サービスについてのアンケート

- ・調査対象：大阪に事業所を保有する上場企業・未上場企業と一部の学校法人
- ・調査時期：平成 16 年 12 月～17 年 1 月
- ・配布回収状況：配布数 1,127 件、有効回収数 142、有効回収率 12.6%

(2) 団塊の世代のライフスタイルについてのアンケート

- ・調査対象：50 歳～64 歳の男女
- ・調査時期：平成 16 年 8 月
- ・配布回収状況：配布数 200、有効回収数 149、有効回答率 74.5%

2 ヒアリング調査

調査回答企業等を中心にヒアリングを行った。

⑪「平成16年高年齢者就業実態調査結果」

厚生労働省大臣官房統計情報部

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/keitai/04/index.html>

- (1) 調査対象 : 55歳以上69歳以下の高年齢者25,224人
- (2) 調査方法 : 調査票を郵送し調査対象高年齢者が記入した後統計調査員が回収
- (3) 調査事項 :
 - 就業・不就業の状況
 - 仕事の継続希望
 - 仕事に就けなかった理由
 - 希望する働き方
 - 55歳当時の状況
 - 定年前後の状況
 - 健康状況
 - 年金受給状況等
- (4) 調査実施期間 : 平成16年10月1日～10月31日
- (5) 抽出方法 : 平成12年国勢調査調査区の中から、無作為に抽出した約1,100調査区に居住する55歳以上69歳以下の高年齢者
- (6) 集計数および有効回答率
 - 集計数 17,853人 有効回答率 70.8%

⑫ 「統計からみた我が国の高齢者（平成 17 年）」

総務省統計局統計調査部

<http://www.stat.go.jp/data/topics/topi140.htm>

下記の事項に関する各種統計のとりまとめ

I 高齢者の人口・世帯

- 65 歳以上人口は **2556** 万人、総人口の 5 人に 1 人
- 増加が著しい高齢単身世帯
- 10 年後には 4 人に 1 人が高齢者
- 国際的にみて高齢者の割合は最も高い水準

II 高齢者の就業・家計

- 高齢者の就業割合は欧米諸国よりも高い
- 高齢無職世帯の家計の赤字は約 4 万 7 千円に増加

III 高齢者の暮らし

- 時間にゆとりがある高齢者の生活
- 最近の住宅ではバリアフリー設備のある住宅の割合が高い
- 高齢者世帯では一般家具や温水洗浄便座などの普及率が高い

⑬ 『団塊夫婦の定年意識』に関する調査

(株) 博報堂エルダービジネス推進室

http://www.h-hope.net/knowledge/hope_report/hope15/index.html

- (1) 調査対象：東京 40km 圏及び大阪・京都・神戸の団塊世代男性（1946-1950 年生とその妻 234 組（468 名）
- (2) 調査方法：事前面接にてパネルを設定したインターネット調査（Hi-panel）
- (3) 調査事項：定年後の生活、楽しみたいこと、努力すべきこと、不安など
- (4) 調査実施期間：2004 年 8 月初旬～中旬

⑭ 『セカンドライフの社会貢献活動に関する一般生活者の意識』 調査結果

goo リサーチ

<http://research.goo.ne.jp/Result/000043/>

- (1) 調査対象 : 「goo リサーチ」登録モニター
- (2) 調査方法 : 非公開型インターネットアンケート
- (3) 調査事項 : セカンドライフの過ごし方、社会貢献活動についての考え方、経験等
- (4) 調査実施期間 : 平成17年3月23日(水)～平成17年3月25日(金)
- (5) 有効回答者数 : 2,179名
- (6) 回答者の属性 :
 - 【男女内訳】: 男性 48.9% 女性 51.1%
 - 【年代別構成】: 10代 18.6%、20代 17.4%、30代 19.7%、40代 21.6%、
50代 16.0%、60代 5.1%、70代 1.6%